京城日報

(年中無休刊) 大正七年七月二十一日 日曜日 THE KEIJO NIPPO 第三千八百九十號 (一) (明治三十九年九月十日第三種郵便物認可)

七月二十日夕刊 (朝夕併せて八頁)

出兵問題

△內閣樞府會議

十九日午前十時臨時閣議開會午後樞密院會議開會され重大案件の報告ありたり（十九日午前九時五十五分東京發至急電報二十日午前八時二十分着）

△米軍浦鹽出動 輸送方謝絕さる

米國は○○守備軍七千を浦鹽に出動す可く其輸送方を日本郵船に申込み來りしも同社にては謝絕せり（十九日午前九時五十五分東京發至急電報二十日午前三時五十分着）

△聯合軍浦鹽上陸

北京來電＝聯合國は西伯利に干涉を行ふに決し英、佛、日、米混成隊約一萬人を浦鹽に上陸せしむ可し（倫敦電報）

△共同出兵希望

西伯利政府は各聯合國政府に向ひ對獨墺戰爭復活の意味を以て西伯利共同出兵を希望する旨通知せり（浦鹽電報）

◇獨對露策露骨 獨軍莫市ヴオロクダ方面進軍

スモレンスクに於ける獨軍は約五個師團ありミルバツハ伯暗殺以來頻りにペトログラード、莫斯科方面に進軍し居りしが其一部はヴオロクダ方面にも進軍し始めたりヴオロクダは歐露と西伯利を接續する重要地點にて軍事的價値重大なり斯て獨逸の對露策益々露骨となり來れり（哈爾賓電報）

◇中產階級ㇳ政府援助

浦鹽商業會議所を中心とする中產階級者は次の條件にて滿場一致ホルワツト政府を援助す可き決議を爲せり（浦鹽電報）

一 聯合國と共同して對獨宣戰を發する事
一 現選擧に依る建國大會迄國家を統治する事
一 過激派の政治を排し新政府には社會主義の代表者を容るゝ事

◇我軍醫救護從事

浦鹽に於けるチエツク隊の負傷兵救助の爲め我海軍より派遣したる海軍々醫十數名は去る十二日同地に著し負傷兵救護に當りつゝあり（浦鹽電報）

◇チオ兩隊再衝突

烏蘇里線にてチエツク隊とオルロフ隊との間に再び衝突起りたり（長春特電）

◇俘虜過激派參加

チエツク軍の戰報に據れば十三日スパスコエ附近の戰鬪にて同所獨墺俘虜收容所にありし俘虜約五千過激派參加せり尙敵は住民に對し强制徵募を行ひ支那人にも亦之れを强要せり（浦鹽電報）

◇武器滿洲里輸送

十九日北京よりセ軍に送る可き砲及び砲彈來著滿洲里に向け輸送せり（長春特電）

◇講和に躊躇せず 獨宰相演說＝外交方針不變

コツペンハーゲン來電＝獨逸帝國議會に於いてヘルトリング宰相は演說して曰く『ウイルソン及びバルフオアの宣言は獨逸をして戰爭を繼續せざるを得ざらしむ然れども獨逸は誠意ある講和に應ずるに躊躇するものに非ず』と又新外相フオン、ヒンツエは同く議會に於て聲明して曰く『獨逸の外交方針は毫も變化せず』と（倫敦電報）

◇兩師管の異動 十二、八師管下

十七日附を以て第十二師管下第八師管下の步兵、野砲兵、聯隊將校同等官、中佐、少佐級十四名、尉官數十名の更迭異動發表ありたり（十八日午後四時四十分東京發電延著）

◇堂島依然紛擾

大阪堂島市場は其の筋の命に依り十八日三期停止となり嫌が應でも解合はねばならぬ機運に向かひしが五名調印取消要求せると瓶虎が如何にしても調印せざるより尙ほ紛擾を續け居れり（十九日午後五時半大阪發特電廿日午前九時着）

◇日華紡織總會

日華紡織は十九日總會成立せるが社長は和田豐治氏なり（大阪特電）

◇興銀副總裁 重任

興業銀行副總裁小野英二郎氏は任期滿了の處十八日重任仰付られたり（十八日午後四時東京發延著）

◇安東滯貨問題 材木商結束す

安東目下の滯貨中安東驛に受付濟のもの豆粕、雜穀合せて三千七百八十二噸材木二萬三千〇二十九連あり受付未濟のものを合すれば約二萬噸內外なる可し是を現下の輸送狀態に依り推測すれば到底當分掃貨の見込立たず一方埠頭設備に對する驛長の言明當に誠意を缺くものありと見られ一般荷主側の怨を買ひ材木商は十八日協議會を開催し十九日午後二時より運輸驛長を訪問し談判に及ばんとせしも川上理事等來安中の爲め驛長不在に就き會見する能はざりしも材木商の氣勢素晴らしきものあれば會見の結果或は驛長排斥の聲起るやも測り難き模樣なり兎に角滯貨問題に連れ今や埠頭問題併せ叫ばるゝに至れり（十九日午後五時二十五分安東發電報二十日午前一時半着）

◇大田殖銀株 好況

大田に於ける殖產銀行株の申込數は農工銀行支店約七千株漢城銀行支店二千八百四十二株なり（大田電報）

◇國澤理事長通過

東上中の國澤滿鐵理事長は二十日朝釜山着直ちに十時半發列車にて北行せり（釜山特電）

◎出兵と日支協約 勢ひ適用を免かれず

西伯利出兵の程度及び範圍は未だ詳記するの自由を有せざるも我政府が米國の提議に基きてチエツク軍援助の爲め浦鹽以外某地點にも軍隊を派遣することゝ爲ることは我兵が支那領土即ち北滿地方に出動するに至るは勢ひ免れざる所なるべし而していよ／＼該地方に我兵の出動を見るに至らば自然同方面に目下出動中なる支那軍隊と共同の步調を執り又同地方に於ける支那經營の電信線及交通機關を利用せざる可からざる必要あるを以て假令今回の出兵が米國の提議に基き支那政府とは何等の交涉なきにせよ當然曩に支那政府と協定せる軍事協約を適用せざる可からざる事となるべし然れども之れが爲め支那も又日本と共同出兵を爲すもの、如く解するは少しは早計なり勿論支那政府に於ても斯る場合の必要に應ずる爲め蒙古より參戰督辦所を設け新軍隊の編成に從事しつゝありと雖も南北互に相對峙し且つ軍費の支出に多大の困難を感じつゝあることゝ今日の如き狀態に在りては日本と共同出兵を爲すこと容易ならざるべし（某軍事通談）

◎出兵と郵貯

內地の郵便貯金は戰前二億圓なりしが近來益々增進を示し五億圓に逹するも遠きにあらざるべく斯く戰後著るしく增加を見たるは時局に依れる好影響に原因するは明かなるが東邦に於て近くシベリアに出兵するに於ては郵便貯金に對し

◎政務總監出發

山縣政務總監は地方狀況視察を兼ね內金剛探勝の爲め二十一日一般の周知方に努むる由なり

出兵問題解決

在京 一記者

◎西伯利出兵問題が至く決定するに至りたるは吾人が讀者と共に其の已むべからざる政策の發動たるを認めざるを得ざる所也。

◎吾人の聞く處に據れば、初め米國より帝國政府に對し、浦港出兵の提議あるや、帝國政府は、其の出兵提議が對敵共同作戰の發動の一たるに外ならざるを以て、贊成を表すると同時に、共同出兵するに決したりと云ふ。但し帝國政府の出兵は米國の如く豫じめ自ら地區及び數量を限定せず、帝國は東邦に於て、特殊の位置を有し、且つ西伯利の治亂は直接に痛切なる利害を帝國に及ぼすべきが故に飽迄も自主的態度を以て共同出兵に應ずべく、毫も東邦に於ける帝國の特殊的位置を拘束し、將來の自衞的行動を掣肘せらるべき意義に於て決定を與へられたるが如し。蓋し帝國の東邦に於ける特殊の位置は、世界列國の夙に認識する所にして、日米共同宣言に於て、明らかに米國の之を確認せる所なるを以て、帝國が今次の共同出兵に對し、重ねて帝國の立脚點を明かにし、其の自衞的の意義に於ても、最も必要なるべければ也。

◎出兵の旨趣精神、此の如く決定せられたりと雖も、最初の出兵は、極めて僅少にして、先づ浦港方面を中心點とすべく、事實上に於ては、大體米國提議の範圍外に超越せざるべしと雖も、守備として浦港以外の地點にも若干部隊を駐屯せしむべく形勢の推移、事態の展開如何に由りては、自主的行動に出でむも未だ知る可からず。故に帝國政府が米國及他の聯合國をして、一切の誤解猜疑を招かざらしめむことを期し、對米同牒の旨趣も亦此に出でずと云へるは當然也。

◎以上の如く、帝國の出兵は、假令、浦港方面に限局せられたりと雖も、其の主義精神は、飽迄も東亞の平和を保持し、帝國自衞の任務を全うするに在るを以て、帝國の出兵の範圍が西伯利方面の形勢如何に由りて、擴大せらるべきは、必至の勢也。而して吾人は、西伯利の形勢必ず一變するに至らむことを疑はざる也。

◎鮮米買付と總督府 小原農商工部長官談

今回の鈴木商店一派の買付が朝鮮經濟に好影響を及ぼさゞりし事は當局として遺憾に堪へざる所なり然も亦

▲時局多端の際 さなきだに米價の釣上らんとする際如何に政府の申出でなりとするも現時の朝鮮財界の趨向に見て總督府が朝鮮米管理に同意を表するが如き態度には絕對に出でざる考へなりしなり當局の意志は夙くより定まり居りしなり斯く言へば何故に今日迄沈默を守りしやと疑ふ者あらんも這は交涉中に屬する事を輕々に洩らして中央政府との體裁を揣摩臆測せしむるの如きは愼むべき事なりし爲めのみ昨紙所載生田課長の談の如く七月三日

▲當日は政府に向つてこそ交涉し十八日夜に至り東上中の神田秘書官より『政府は鮮米の買付を行はしめず又管理をも行ふの意志無く今後之に關する件は朝鮮總督府と交涉するにあらざれば爲さしむ可し』との意味の通知に接したり本日內地新聞紙に掲載したる朝鮮米管理令發布されたりとの入電は仁川某所にありたりと云ふも右を聞き間違へたる謬報の入電ならむ本件に關しては政府より何等の通知なく又前記の回答に見て直ちに

▲命令發布さる 可しとは信ずる能はず況んや當方に於て之を承諾せざるに於てをや余は此際何處迄も冷靜の態度に出でん

▲米管理を行はず 總督府 生田商工課長談

仁川某所へ近く朝鮮に米穀管理令の發布を見る可しとの入電ありしとの事に就き生田總督府商工課長は曰く右の電報は全然誤傳なる事を信ず昨日余は明かに今回の交涉顚末等に就き語り置きし如く政府は管理を行ふの意思無しと明答し今後如何なる必要に迫らるゝも本府と協議す可き事を約せり然も現在迄何等の相談をも受け居らざるに本府が承諾せる理由なく本府の承諾無く

◎賞米移出を禁ぜよ 奧田貞次郎氏談

穀物協會臨時總會に列席したる奧田貞次郎氏は曰く鮮米買付問題に就ては遂に一言したる處ありたるが其後聞く處に依れば當局は本問題突發の當日より既に其買占を中止せしめ

▲買方の指揮官 たる小西某は兩三日中に朝鮮を引揚げて內地に歸還す可しとの事なるが兎に角實家なる小西某は今尙ほ窃に米穀市場に於て買付を繼行しつゝ有るの狀態なれば吾人は此上は賞米移出禁止の大鐵槌を頭上に加へ以て彼等をして手も足も出さしめざるやう英斷を望まざるを得ず現在

▲買占めたる賞米にして悉く內地に移出せられんか在朝鮮住民の打擊蓋し尠少ならざるものあり即ち新穀出廻期の迫れる今日朝鮮の在米が果して幾何の數量にあるや到底知る能はずと雖も今日の狀態より見れば決して餘裕あるものと樂觀を許さず殊に近年に到り米の需用率激增せるは顯著なる事實にして試みに

▲其の數量を擧げんか 內地に於ける大正四年度の收穫高は四千萬石にして大正五年度は五千八百萬石を算せり然るに四千萬石の收穫高にして翌一年新穀出廻り季に尙ほ五百萬石の餘剩を來したるにも拘らず大正四年に比し千八百萬石增收したる大正五年の繰越高は僅に二百萬石に過ぎず之經濟界の膨脹に伴ふ生活程度の向上增殖等に依る

▲自然的需要增加 にして此勢ひは昨年來より益々激しき傾向を見るに至りたるのみならず收穫高に於ては大正五年に比し三百萬石減收したる程なれば本年の端境期に幾何の餘裕あるや思ひ半に過ぐる者あらん內地既に然り朝鮮に於ても近年農民經濟の向上に連れ生活著るしく向上したるため往年

▲唯一の食糧品たりし滿洲粟の如きも殆んど流行を見ざるに至りし狀態なり吾人の觀る所を以てすれば朝鮮の持米は既に春以來の米價高に刺戟せられて其大部分は放出されたるを以て此の季に際して政府補給の下に（自分は斯く信ず）買占られたる十數萬石の賞米を一時に移出せられんか

▲端境期迄の朝鮮は或は食糧問題に就いて大なる支障を生ずる事なきを保せず之獨り一地方の問題に非ずして實に在鮮民の死活問題なれば本問題に就ては極力各地の輿論を喚起するに勉め以て最善の策を講ぜざる可らざるなり（仁川特派員）

◎位記傳達式

廿日午前九時總督府總督室に於て位記傳達式を擧行高橋武官久芳人事課長列席總督並に政務總監不在の爲め荻田總務局長より山田昌氏外八名に對し位記の傳達を爲せり

◎徹底的調節 某銀行家談

政府は各地方長官に命じ七月三十一日現在の米十石以上の所有者を調査する事となりしが右調査は政府の米價調節が愈々徹底的ならんとするを示すものと云ふべし乃ち政府の力により期米は激落を餘儀なくされしも市場に於る現米の不足は自然米價を暴騰せしめ此儘放置せば益々高値を現出せんとするより政府は今回全國の在米を調査し其在米と新穀出廻り期に至る迄の需要米の比較を考へ適當に米穀輸送方法を執り價格の調節を圖らんとするものなるべきが該調査の結果在米の豐富を知り得ば米價は下押さん若し在米缺乏と判明せば一層の高値を現はすべくその實數の如何は極めて米價に重大の關係あるべく惹いて米の價格にも影響する所少からざるべし

◎直隸省に百萬圓 鮮銀の借款引受

朝鮮銀行にては客月中村庶務局長天津に出張直隸省の申込みに係る同省金融整理借款百萬圓に付同省當局と協調の上現金にてその授受をなし歸任したるが年利八分期限三年となり擔保は同省の地方稅三四種を含み居れりと

◎外人勞働者數

居留地外に於ける居住又は勞働に關する許可を受けたる外人勞働者數大正六年十二月末日現在人員を各道別に示せば左の如し

道名	居住	勞働	居住及勞働	計
京畿	—	—	四四四	四四四
忠北	—	一四	—	一四
忠南	四	—	一五二	一五六
全北	—	—	六五	六五
全南	—	—	八	八
慶北	—	—	五〇一	五〇一
黃海	—	—	九八〇	九八〇
平南	—	—	一四	一四
平北	—	—	[illegible]	[illegible]
江原	六	六	一六	二八
咸南	—	—	二四六	二四六
咸北	—	—	一五四	一五四
合計	一〇	二〇	[illegible]	[illegible]

即ち本期に於ける勞働者は支那人のみにて本期末に於ける現在總人員は前記に比較し七分四厘强減じ居れり

◎鮮滿財界紹介

朝鮮銀行にては內地各方面に朝鮮經濟事情を紹介する目的を以て東京京都兩帝國大學東京神戶兩高等商業學校の教授各一名學生各二名（東大は三名）に旅費を交付し鮮滿支の視察を囑する事となり東大よりは松崎博士並に法科學生竹內上村荻田の三氏京都帝大よりは山本助教授齋藤深田兩學生東京高商よりは藤本教授井上辻兩學生神戶高商は某教授若井若林兩學生に決定し京都の山本助教授並に學生東大の竹內學生は既に入京目下鮮銀を主として諸種の調查を進めその他の教授並に學生何れも約一週間內外滯在の上漸次北行の豫定なるが學生の該視察希望者は頗る多數なりし由にて選に入りたる學生は何れも優等生のみなりと

◇朝鮮米買付發表 新規買入は中止

臨時外米管理部は十八日左の發表を爲したり（十八日午後四時四十分東京發電報廿一日午前二時半着）

過日來指定商鈴木商店に命じ朝鮮に於て朝鮮米三十萬叺を買入れしめたり右朝鮮米は東京大阪に廻送す可く一部は到著濟なり賣出値段に就ては外國米の如く特別の價格を定めず時價に從ふ方針なり目下朝鮮米の新規買入は中止しつゝあり

殖銀設立彙報

▲大阪二百倍 十九日來內地電報の延著甚だしき爲め殖銀應募株數の詳細は尙知り難きも要するに大阪のみにて一千六百餘萬株の受理申込電報ありそれのみにて約二百倍となり居れるに付結局東京京都神戶下關朝鮮滿洲各地の合計は二千四五百萬株所なるべく約三百倍見當ならんと稱せらる

▲募入決定期 株式の募入方法をいかにすべきかは明らかならざれど要するに按分募入とし申込多きものよりその割當をなす事は公告にありし如く動かすべからざるも唯申込數の幾株以下を切り捨つべきか端株をいかなる振合により割當つべきか抽籤方法をいかにするか等の問題は近く東上中の鈴木度支部長官並に美濃部鮮銀總裁の歸任後小原農商工部長官川上東拓理事の四殖銀常任委員參集協議決定すべく月末までには確定を見るべし尙ほ三百株以下の申込にては到底數株の割當を受くる事は困難ならんかと

▲優先申込數 優先株の申込は四萬數千株（昨報誤り）にて申込洩れ約一萬株ある模樣にてそれだけ按分に附すべき株數の增加を見る譯なり尙ほ一萬株の棄權を見たるは主として鮮人の遠隔地在住株主なるもの、如く事情に通ぜざりしためならんと

▲增築計劃 漢湖農銀本店が殖產銀行の本店となる事は素よりなるが現在の建物にては狹隘に付其の東隣地に若干の建增しをなすべく既に設計案も出來せりと

◎黑板博士出張

古蹟調查の爲め來京中の黑板勝美博士は十九日附を以て京畿道慶尙南北道地方に於ける古蹟調查の爲め往復十四日の豫定を以て出張を命ぜらる

◎嘉納副總裁歷訪

嘉納鮮銀副總裁は二十日も引續き不破秘書役の東道にて各方面を新任挨拶のため歷訪せり

◎原田會長消息

六七月中來鮮の事となり居し日本郵船取締役會長原田金之祐氏は目下大阪滯在中なるが八九月の交入京の旨通知ありしと

◎鑛業登錄（自七月九日至同十三日）

▲鑛業權設定

金銀銅鐵 黃海道瓮津郡花山面 六十八萬三千五百四十四坪 金天雨
黑鉛 平安北道泰川郡院面 十八萬四千二百二十坪 早川助重、早川安吉
金鑛 同永同郡永同面鶯淵面 六萬千二百五十六坪 谷彥一
タングステン鑛 忠淸北道堤川郡水山面 三十萬九千二百二十五坪 藤井武次郎
黑鉛鐵 全羅北道錦山郡珍山面 三十二萬三千四百坪 小林致助
金銀銅亞鉛鑛 慶尙南道東萊郡東萊面北面 九十五萬七千二百四十四坪 藤本喜代一
石炭 咸鏡北道吉州郡長白面 八十三萬七千八百九十坪 松本勝太郎
砂金 忠淸南道保寧郡靑川面 五萬四千七百十五坪 高橋久吉
鐵 黃海道遂安郡公浦面 六十四萬三千四百五十五坪 荒井初太郎
同 平安北道熙川郡熙下面 四十七萬六千八百五十五坪 大元種
雲母 咸鏡北道吉州郡長白面 四十七萬千七百坪 山本高俊

▲鑛業權移轉

京畿道江華郡佛恩面良道面 七月十三日 山田正雄
慶尙南道統營郡山陽面 同 安藤昌一
平安南道大同郡斧山面在京里面 同 東洋鑛業株式會社
同在京里面 同 同社
同南兄弟山面在京里面 同 同社

▲鑛業權表示變更

平安南道成川郡成川面 鑛區面積を二十三萬四百坪に變更す

▲登錄名義人表示變更

忠淸北道沃川郡靑西面 合名會社秋元商會の假住所を京城府南山町二丁目二番地新田利兵衛方に變更す

▲鑛業權消滅

平安南道寧遠郡德化面 取消

◎木棉解散と寄附

木浦棉業會社にては去る十七日總會に於て愈々解散を決議し同時に利益金中より木浦學校組合費に一萬圓木浦消防組へ一千圓木浦靑年會へ一百圓寄附の決議をなし十八日木村社長より府廳へ現金を交附せりと

◎白井中將北行

旅順要塞司令官白井中將は二十日朝南大門驛通過旅順に向へり

◎松崎博士來鮮

東京帝國大學教授法學博士松崎藏之助氏は近く鮮滿經濟事情視察のため入京約一週間滯在の豫定なりと

□旅順博物館より 八木生

無事消光致し候、旅順の心地好さは塵煙到らず而も涼風常に吹て暑熱を洗ひ、朝夕は誠に淸凉にして好日を忘る、點に候、去れば南滿中の避暑地として恐らく第一と存候又新建の博物館も其宏壯美觀東洋第一なる可く、現在の分又總督府博物館以上に候、古器其他の事は重ねて御報可申上候匆々（七月十七日）

人事消息

▲須藤江原道一部長 廿日朝京城へ
▲松平東拓理事 廿日朝釜山へ

茶前酒後

◎日英米西伯利出兵に對し獨の社說如何まさか喜ぶ可きものには非ざる可し
◎露都英府に進軍の獨兵は明に兩市占領歐露同樣の地盤を作らん爲
◎別に魚露愚獸に向け前進の獨兵在と同地は歐露と西伯利の境界地
◎其占領は軍事的價値も多大故獨渠果して公然極東に軍隊を輸送か
◎獨の極東大兵輸送も今の處難に非ず西部戰線を防守に轉ぜばよい
◎既に戰初に於て獨は東西兩部の戰線に大部隊を動せし經驗を有す
◎果て然らば今後の西伯利が殊に減度の各國出兵にて充分なりや否
◎全露執政官と名乘を揚し獨輪子も哈爾賓では大分不人氣の模樣だ
◎惡口新聞德士紙の如きは將軍の將來を三日天下也と嘲弄的豫言し
◎叫ば好のに舌切雀鳥渡啼たが身の誇りなさ、冷し發行禁止を喰ふ
◎他の一紙は新聞は民論の代表機關手前其の努力が何で恐いと叫び
◎彼の此處な店變な本奴我何を切る新聞迄が斯く露骨千萬亂雜可知
◎鮮米買附こかで一問題出來たことか消ださ食糧問題は世界共通難
◎元來米穀の不足は人口增加と農村衰微に因す平生の注意が肝要也
◎都市の繁華社會風潮の驕著は甚しく農村の衰退を來宜く今日に鑑よ
◎出來た事は仕樣無いと云へば其迄今後の食糧問題は農村振否如何に歸
◎豪奢を誇る成金よ汝等は黃金を倭に饑んとする愚者を學ぶすか
◎朝鮮を見よ滿洲を見よ如何に多くの農地の存するかを何ぞ來たる

大正七年七月一日改正現行

浦港で困るのは水

氣候は今が内地の五月始め　空氣は乾燥してゐるが健康地だ

目下の形勢を以てすれば日本及び英米の兵員若干は不日浦鹽に上陸するであらう、多年同地に在りし某氏は語る『浦鹽は丁度我横濱の如き地形をなして其市街の如きも大半は連亘せる

◎山々の中腹 に軒を並べてゐる、ロシア島を廻つて灣口に入れば其正面の市街は有名なるスエトランスカヤ街である、而して其右手の沿岸が所謂浦鹽軍港で露艦隊は常に此處に幾本かの檣を押立てゝゐたのである　左手の沿岸市街エグルセリズの一帶には西伯利亞鐵道の起點驛要塞司令部税關及び諸軍隊の軍營が嚴めしく甍を連ねてゐる我軍が若しも此の如く

◎浦鹽に上陸 するとすれば右言つた軍營を假の宿舍とする事になるであらう、海軍の陸戰隊の如きも夙に其軍營に入り込んでゐると云ふ話である、チェック軍の本部も前述の要塞司令部に置いてあるとの事である』チェック軍の結束は益々堅くなる許りで其情報は刻々に知らせて來てゐる、夫は兎に角我兵が浦鹽に上陸するとすれば第一番に

◎困るのは水 であること んな事は既に世間周知の事であらうが一杯の水を呑み一椀の水を酌むにも本來なら市街の中央から後方へ山を一つ越ゐたベールワヤレーチャ河まで凡そ往復二里半も歩かなければならない、平生は支那の苦力が馬車で以て市街に運んでゐる、從つて水と云ふものが

◎非常に貴重 な物となつてゐる、湯に這入るにも一時間十留位は要る、尤も混浴なら三四留で足りるがそれにしても我國の湯屋でする程に水を粗末にさせない』尙ほ此の水が非常に鹹味があるから石鹼が用をなさぬ、氣候は昨今が丁度我國での五月の初旬頃、暑くなれば大陸我國と大差はない、然し

◎空氣が乾燥 してゐるから人の健康には最も適してゐる水が右の通りであるに反し魚類は至つて廉い、二尺位の鯛が一尾一錢か二錢で買へる、甘いのは蟹とナマコとで廉いから食ひたい丈食へる、黑龍江から流てくる大鮭と云ふのがあるが之は不味い』

◎巴里に東京街　記念のため命名

十四日の國祭日に於いて聯合國の協力を記念とする爲め巴里市は其の街の一を東京と命名せり（巴里電報）

◎露廢帝無事か

露國新聞の報道に據れば、露國廢帝は其家族と共にエカテリンブルグより他に移送せらるゝに當り數名の暴漢によりて襲はれしも執行官ヤクロフ氏の防禦に依りて襲撃は失敗し無事なるを得たりと此の爲め廢后アリスは病氣重態に陷れりと（倫敦電報）

◎河内殉難者遺骨呉へ

河内殉難者遺骨移轍の某艦正木艦長以下護衛にて呉に着せり（十九日午後五時半發大阪特電延着二十日午前九時）

◎パラチブス殆ど終熄す

一時猖獗を極めし京城のパラチブスは昨今殆ど終熄の形となり昨年發生以來三百餘名の患者にて尙入院加療中のもの百二十名ばかりあるが何れも不日全快退院すべき見込みなりと而して罹病者中死亡せしは僅々數名にて殊に輕症者は一週間内に全快したるものあり患者の發生最も多數なりし所轄本町警察署にては非番巡査を以て檢病的戶口調査に從事したること四十五日間に達し消毒防疫の効を奏して漸減するに至れり

◎獨逸皇帝の軍旗

浦鹽勞兵會本部から發見さる

◇荷揚人足等新政府に反抗して騒ぐ

稀有の暴風雨に遭遇しこの程敦賀に辛うじて入港し得たる鳳山丸船客の語れる所に據れば『チェック軍が過激派を掃蕩したる後の浦鹽は引續き靜謐なれども棧橋附近の荷揚人足は新政府の命令に服するを欲せず職業組合の如きはチェック隊に抗議し又先般逮捕せられし過激派は黨員の釋放を迫り一方領事團に對してはチェック及び過激派の

◎戰爭中止 拘禁黨員の釋放西伯利政府の組織せる軍隊の解散等に斡旋せられんことを乞ひ赤衞軍中に獨墺捕虜ありとの非難に對しては決して獨逸の間諜に非ず何れも社會主義者にして露國に歸化せるものなりと強辯し居れり先般浦港の勞兵會本部を占領せる際本部の一室より獨逸皇帝の肖像を織り出せる

◎軍旗一旒 を發見せる由なるが爲所謂種々なる想像說傳播しつゝありたり西伯利政府の軍務大臣クロゴベツキヤシ外四五名の閣員は去七日山陽丸にて朝鮮を迂回して到着したるが之にて閣員全部勢揃ひしたる譯なるも

◎主義政綱 の判明せざること他動的に政權を乘取りたるものなることの二つは同政府の威信を毀くる事頗る大なり尙例のプレシコフ將軍及び經濟幹部との會見の爲十日浦港に到着しホルワット將軍も亦軍隊を率ゐて浦港に向つて進軍しつゝあり

◎其目的は 西伯利政府に反抗の爲なりとの情報或は到着したる爲西伯利政府の信望は愈々以て失墜し若し聯合國各隊の陸戰隊巡邏兵及びチェック兵の嚴重なる警戒なくんば何時如何なる椿事の發生無きを保す可らずと（敦賀）

朝鮮の米界に大波動を與へた小西 ＝二十日朝朝鮮ホテルを出でゝ仁川に向ふ＝

×緩衝機×　浴客と當業者へ　京城　一浴客

◆町每湯では特に浴客の爲めに其の筋の指示に依りて作られた條規なるものが脱衣室に貼られてゐる殊に其れが衞生に缺く可らざる事に就て書いてあるのは浴客として悅ばねばならぬのであるが吾々の感情は屢々不愉快の念を懐す實例に接するのである

◆湯屋の條規として入る前に先づ身體を充分に局部ぐを洗うて然る後入浴すべき事は他人の指示を待たずとも判り得べき事であるが然るに或階級の人間は殆んど洗ふか洗はずに入つてしまう他から見て誠に不愉快に堪へぬのである

◆次に不快を感ずる事は痰唾を所構はずに吐かれる事である是れ亦大の禁物たる事は今更說明を要せぬ程に總督府では府令を以て肺結核豫防法に關して法規を發してゐる位であるから浴室の隅には必ず痰壷の備へがある然るに此等を無視して痰唾を止く人がある此等の人は未だ結核菌の恐しさを辨へぬ盲目漢であらう斯の如きは他人の指示に依らずとも一個の人間として是非改めて貰ひたい

◆以上は一部の浴客に對する苦言であるが次に湯屋營業者に些か望みたい、言ふ迄もなく浴室の衞生を重んずることは今更重ねて申す迄もないが時々脱衣場の不潔さには驚かざるを得ない殊に衣類を入れる棚の如きは時々綺麗に掃除して貰ひたい者である、序に云へば、板の間へ放り出された衣類の如きも一二尺程の高さにしたならば一入の心地よさを覺ゆるであらう要は浴客を客として清潔に留意して貰ひたいのである

留守を附込む行商人　債物忠告生

◆此頃京城市中を某藥店の行商人と云ふ四十前後色の黑い身長五尺位で、土方上り風の顔の少し四角張つた男が藥の取粉を賣て歩きますが私の宅では折柄主人の留守中にて女子供ばかり居る處へつけ込んで刺ら要らないと斷つても『之は宮崎縣に於て最近發明されたるものにて蠅驅除部にては一箇月を費して分析せられたる結果從來のものより優良なる品たる事を認められ警察署に命じて市內各料理店飲食店等に强制的に使用を命ぜられ、若しも之を使はせざる者は社會に病菌の傳染を計る者なりとして嚴罰に處する事となつてゐる而しこの附近の交番所にはまださう云ふ事は知らない又之れは御製者苦心の結果蠅には猛毒であつても人には決して害をなさない』などゝ出鱈目の効能を々と並べ立るので

◆『蠅取や紙取粉など』と云ふものは大抵飛ばせられてゐますから主人が歸りましたら相談の上で買ふ事にしましょう』と優しく出ますと『時は金なりと云ふ事は御存じでしよう吾々行商人には殊に一秒時でも無駄には出來ないそれに何故に暇らしたのだ喉り質に二三個買て呉れ』など大きな聲で大變な權幕です

◆そして『買はねば立去らぬ』と果ては嚇かしますので恐くてなりませんそれで私は十五錢のを二個買ひました。近所の高等官の奥樣は一圓五十錢で十個買はれましたさて使用して見ますと蠅一匹は愚か何の効能もないのです。近うした手段で市中を迂路つくゴロ商人がゐますよ皆々樣御注意遊ばせ尙當局の方へ嚴重の御取締を願ひます

◎遞送駄馬鴨江に墜落　小包三個流失

咸南惠山鎭郵便局より咸州古邑行きの郵便行嚢を負はせたる郵逓駄馬は本月十六日午後一時半頃古邑憲兵分遣所管下羅竹駐在所附近の鴨綠江岸の斷崖を一名の遞送夫が牽きて通行中馬は足を亡らして鴨綠江の深淵に墜落し背負はせたる小包（金扇類）三個は遂に流失するに至りしが行嚢は浸水せしも拾ひ上げ遞送夫及び駄馬は幸ひに救助されて無事なるを得たりと

◎豺二兒を殺傷

慶北に於ける豺の被害夥しきことは屢報ぜしが本月八日午前十一時頃榮州郡豐基面に於て同時刻に三名の小兒が殺傷されし慘事あり被害小兒は豐基面白洞南錫圭長男甲慶（五）同洞金秉緩長男順特（五）同面自新洞金弘日長男八龍（六）の三兒にて何れも自宅附近にて遊歩中豺に拉去されしものにて發見したる家人等が追跡せし爲め甲慶は重傷、順特は輕傷を負ひたるも取り返したるが八龍は遂に咬殺されて殘骸を發見せり所管豐山憲兵駐在所にて大擧豺の卷き狩をなすべく計畫中なりと

◎帆船の遭難　慶北迎日

郡浴州面九龍浦徐致頣所有帆船四吉丸（五十四石積）は十二日午後九時頃港內碇泊中暴風雨の爲め難破流失し船夫四名は辛く上陸せしが積荷の松御木四百八十圓と船體三百圓の損害を蒙りたり

◎大田の土用入

大田　土用入は夜來の雨霽れ薄曇午前十時氣溫八十八度十分なり（大田電話）

◎麗水丸汽罐　引揚作業着手

本年一月二十三日午後三時仁川を發し木浦へ向へる途中忠淸南道長古島沖にて遭難せる仁川木浦間定期麗水丸は當時船體全く破碎されて僅に汽罐のみ原形のまゝ殘り居りたるものなるが去る十五日朝鄭讃ほしめ汽船成歡丸を現場に派遣し其の引揚作業に着手せり沈沒個所は即ち遭難の現場にして外長古島西岸約一哩半の處なり今日迄遭難屍體の發見せられたるは油差古庄仁三郎外鮮人三名にして船長以下乘客共十二名は尙ほ發見せられざるも或ひは汽罐引揚と共に發見するやも知れずと關係者は語れり尙ほ作業は約一箇月位ひの豫定にて目的を達し得るべしと（仁川）

◎顔を隱しながら

立派な家庭の婦人が買つて行く　＝淺松太郎氏の白米安値放賣＝

奸商の手に依り米價暴騰底止する處を知らざる今日取引所仁川仲買人淺松太郎氏は京城に於て又復升二十九錢位にて白米の小賣をなす由なるが之に就き同氏曰く『米が騰貴すると共に生活難の聲が高くなるので某公共團體の

◇寄附を斷念し其金額丈けの缺損を見込んで白米を安價放賣し聊かたりとも救濟の實を擧げんものと二月と六月にかけ二回程石に付一圓五十錢安で賣つた所成績は豫想外に宜かつた其結果社會の裏面を洞察する事が出來たが就中此の八九時頃から立派な家庭の婦人方が

◇顔をかくしながら風呂敷と金とを出して買つて行くものが尠くなかつたのには暗然たらざるを得なかつた、其處で私は切實に各方面に於ける生活難の激しい事を知つたので今回三度目の安賣を實行するのであるが今回は手持米の大部分を市場に出して尙一層の好成績を擧げる覺悟である』

◎問題の小西某

京鈴木商店の手先となり鮮米買占の爲め來鮮せる問題の男小西辰次郎は愈々明二十一日京城出發內地に歸還す可し

◎檀山氏の奇禍

京釜線龜尾驛居住の檀山義夾氏（五）は去十五日洛東江岸の一村に病める朝鮮人を救はんとして暴衣のまゝ自宅を出でしが其歸途渡船來らざりしにより水泳の達人のことゝて泳ぎ渡らんとせしに近頃の大雨に增水したる濁流に押流され行方不明となれり此報傳はると共に龜尾驛の官民は大に驚き手を分けて搜索したる結果十八日朝下流に屍體を發見し同日午後火葬に附したり檀山氏は鹿兒島縣人にして久しく鐵道に服務し後官を辭して龜尾に卜居して同地方の有力者なりし丈け地方の鮮人間に敬慕されし人なりしが人を救はんとして自ら死を招きたるは誠に同情の極みなりといふべし

西鮮お伽旅日記（九）

◆平壤◆　涙光生

◇エプロンの園兒が保姆を取りまいて可愛い聲で語つてゐる兩小學校の下級生も寄り會して常に溢れば平壤の神坂支局長が小父さん口調で開會の御挨拶をする、小さい幼稚園に居るに今までこんなに話のたやすく出來た事はない巡講さん……

◇休む暇もなく上野校長の紹介で壇に立てば尋高の生徒と本校の生徒で廣い講堂もぎつしり一杯、か……

……

讀者文藝

▲一等なし

▲等めね

佳作者　龍山省己、京城慶英、同永道、開拓米、茂晶、龍山秋芳子

（次號課題）

課題及募集規定

◎廣告圖案募集

大日本麥酒株式會社京城出張所に於てはサッポロビールの廣告圖案を募集す……

◎小切手を拾ふ

京城永樂町橋本某は十八日正午頃本町二丁目路上にて額面八十五圓振出人山本吉彌受取人山縣太三郎名義の小切手一枚を拾ひ本町署に屆出でたり

商況

東京期米特電

十九日前場　當限　中限　先限　二十六圓五十七錢　八十九錢

兵庫期米特電

立會停止

大阪株式特電

銘柄	掛込値	前引値
鐘紡	[illegible]	[illegible]
宇治川水	[illegible]	[illegible]
東京電燈	[illegible]	[illegible]
北海紡績	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋製糖	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

限月	前場
七月限	三五五、〇〇
八月限	—
九月限	—
十月限	—
十一月限	—
十二月限	三五三、〇〇

大阪期米特電

立會停止

下關期米特電

雜報

◎正米落著くか

錢方の昂騰を示し今更に三十五

◎精白米拂底

賣應ロ殆ど纏り

◎平板新高値

十錢昂騰首印五圓一二十錢方

之又近く昂騰を免かれざるべし

◎洋釘眼先高

更に引上げする傾向

要期の供給不足　秋口高

◎臺灣赤糖

黑糖

◎茶は品拂底

下關相場

二十三百二三十丁の棒立ち相場を演ず

揚句は

朝鮮の昂騰

甚しく品ガスレ

或程度迄の昂騰眼先尙

免がれ

本日俄然七十丁

方の大暴落を報ず

釜山市場の如き

案外歡迎

◎內地糖界氣丈

◎大豆買氣引立

三十錢方引締

乃至一錢の値上

◎支那粟漸騰

又々三十錢方引締

◎色板類昂騰

銅六圓眞鍮九圓方を引締めた

◎染料は閑散

各地商況

大邱正米（十八日）……

大邱米況（十九日）……

釜山市場　十九日

南大門廻穀

仁川正米

仁川期米

二十日前場（小堅し）

▶第一節　東京昨前場寄付先二……

高寄付昨止より六錢

高少解合後に取組

小堅き成行

秋田縣種子荷揃

大和町一丁目　松田商店　電話長京城三七三九

市場雜觀

物價浮動狀態にて買物多く現はれ低落又賣物騰貴

割安の思ひ買物多し

令の前提には非ざるか米價の制限

北濱たより

▲氣迷ふ　出兵問題

▲堂島米株

▲郵船の期近

仁川米豆取引所

二十日の九月限

	寄付	高値	安値	引値
第一節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第二節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第三節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　六千九百五十石

白米小賣値

一等白米　三十二錢
二等白米　三十一錢五

白米標準値

三十一圓五十錢

仁川米豆取引所仲買　倉重商店

天氣　くもり　少雨

仁川米豆取引
二十日の九月限
六錢こ押し押目は又買物に四十錢こ引締め跡ドタ九を採み合ひ四十錢こ打止めたり

◎北鮮豪雨被害高　去る六月三十日より本月三日に亘る豪雨の被害高……破損六戸浸水十三戸（此の損害見積高三七五圓）其他田の埋沒及び防破損五箇所延長六十間決潰二箇所延長百六十間……

京日紙上お伽講演

朝鮮傳說　七星池

龍山　涙光

軒の風鈴もゆるがない昨日今日のこの暑さに浩さんは最う學校へ行つても身體がだるくつてだるくつてたまりません、讀本なぞの時間にはひとりでに氣が遠くの方へ引張られて行つて眠けに誘はれます。こんな日が五六日も續きましたが、いよいよ今日からは待ち兼ねた夏休みがやつて來ました、終業式の時、校長先生は休暇中に何か面白いお話をみんな一つづゝ持つて來るやうにと有仰いました、浩さんも何か面白い話をみつけ出したいものだと思つてゐました、浩さんは休暇になると平壤の伯母さんのお宅へ參りました、大同江の水に泳いだり、牡丹臺の勝地に半日を送つたりして愉快に休暇を送つて居りましたが、一日の事、北行の汽車に乘つて平壤から約二時間、新安州驛に降りて、此處から輕便鐵道の玩具のやうな汽車に乘りかへ安州に參りました、古い幾百年の昔からか繁つてゐる樹木の森が此處にも其處にも昔を語つてゐるやうであります、村は靜かな平和な村でその一方の丘には名高い百祥樓が移り變る世の中の樣をさも笑つたやうに建つて居ります、浩さんは樹木の陰を仙境から湧いてでも來るやうな冷やつこい風に身を吹かせながら好い心地で村はづれまでやつて來ました、すると其處には形の非常に面白い大きな池があります、蛙の聲が何とも云へず一種の淋しさを誘つて鳴き立て、居る、柳の大木の下に腰を下して善い煙管でスツパスツパと煙をふかして居る一人のお爺さんの傍へ浩さんも腰を下して休みました、浩さんは朝鮮に來てからまだ二年位にしかなりませんが非常に鮮語が上手でありますので、そこで

『お爺さん隨分暑いですね』『しかし安州はほんとに涼しい好い處ぢやありませんか』と話しかけますと

『うん、安州は涼しい處だとも、全體朝鮮は暑い朝鮮は暑いつて日本の人は云ふけれ共日本の都會なんかより朝鮮はよつぽど涼しい、朝夕のあの涼しい風なんか、日本の都會の人達は夢にだつて見る事は出來やしないからねえ。』

と長い鬚を二三度しごいてまたも煙をスパリスパリ、

『お爺さん、此池は隨分大きな池ですね、そしてなかなか面白い形をしているぢやありませんか』

『うん、これはな七星池と云つて天のお星さんに象つて名をつけた池で、うんとうんとこの池については面白い話があるのぢや』

『どんな話ですか、聞かして下さいな。』

悲しさうな蛙の聲が二人の耳に異樣に響いて參ります、お爺さんは煙管を置いて膝つ坊主を兩手で抱へながら語りました、

『今から何でも二百年餘りも昔の事ぢや、この安州郡の郡守さんに金德諧と云つてなかなか才智に長けた人があつたのだ、その頃この七星池には何十萬、何百萬といふ澤山な蛙が住んでゐて、みんな一緒に鳴き立てる、村の人達は八釜敷くつて八釜敷くつて夜なんかちつとも眠られない、それが一日や二日ならこそ、一月も二月も三月も續くのだから、とても堪らない、そこで村の人達は、才智にたけた郡守さんに、何うかして蛙が鳴かない工夫をして下さいとお願ひすると、郡守さんは、種々と首をひねつて考へた末、それは藥をちひさく、ほんとに小さく切つてお池へ一面に投げ入れてみよ、きつと蛙は鳴かなくなるだらうと教へた村の人達は歸つて來て早速藥を切つて教へられた通りにお池の中へ投げ込んだ、ところが何も知らない蛙等は、これは甘味い御馳走を誰が呉れたのだらうと、みんなパクリパクリと飲み込んだ、さあ大變だ、藥が咽喉に引かゝつて聲がちつとも出ない事になつた、その晩からこの七星池には蛙がちつとも鳴かなくなつた、それから隨分永い年月の間、七星池で蛙の聲を聞く事は決して出來なかつたのだが近頃になつて、こうして一種變つた悲しさうな聲で蛙が鳴き出したのだが、村の人達は、蛙の聲が鳴いてるのだと云つて居る。』

爺さんは斯んな話をして、また煙管を取り上げた、池にはやはり悲しい聲で、恨んだやうな悲しい聲で蛙がしきりに鳴いてゐる、浩さんは夏休みが濟んだら、この話を先生に話して聞かして上げようと思つた、永い日も早西のお山に沒せんとして居る、お爺さんと別れて浩さんは仙境の森を村へ歸つた。

仁川船舶問題

◆鐵道長距離運賃撤廢◆

穀類集散貿易港としての仁川が最近に至つて常に船舶問題に惱むから苦しみ鐵道輸送の揶揄しからざる際殆んど其の荷動きの取れざる狀態にあるは獨り仁川港の爲めのみならず朝鮮の貿易を阻害し金融上の打擊少からずとして之が善後策に就ては當業者は既に幾多の問題に頭を惱まして來た、船舶の不足は世界を通じての大勢で獨り仁川のみの打擊でないのは知れ切つた事である、半島の東西を眺め土地の天惠に依つて

◇◇厚薄　のあるのは又爭はれぬ事實である之を以て仁川にも隣の國子が此方にも分與けて呉れと云ふ譯であるが之に先つて鐵道の長距離運賃の實施が本問題自然の解決を與ふる先決問題とせられ之れに向つて仁川當業者の希望を陳述し撤廢を請願すると云ふ事になつた、即ち長距離運賃の制定と云ふものは鐵道の貨物集中策で謂りに港灣を利用せず一路鐵道に依つて遠くに送り出す者には運賃の特典を與へて之を輕減すると云ふ譯は、商家の澤山一時に買つて呉れたら割引しようと云ふのと大した相違はない之では切角港灣の改善を計り巨萬の國費を投じて作り上げられた築港の利用策は比較的

◇◇意義　が薄弱になつて來る之は宜しく鐵道の特定運賃を撤廢して物貨の集散に不自然の强奪をする事なく一般港灣の利用の道を講じて貰ひたいとは當然の要求と云はねばならぬ現在では此の長距離運賃の遞減がある爲めに所謂仁川の商圈内に屬する地方の産物は之を仁川に搬出せしむも直接鐵道に依ると云ふ事になり從つて其の廻著の數量は減少して居るのである即ち仁川の商圈とする鳥致院或ひは水原等は其哩數に於て僅かに

◇◇百哩　未滿なるが故に遞減の特典に浴する事が出來ない寧ろ仁川搬出を罷めて直接に遠距離に發送した方が採算上有利となる斯の如くにして仁川に來る穀類は減つて行く減るが故に海路輸出の數量に變動を生じて何時船が入港しても輸出貨物は何時でも御參なれとは保證し難い貨物の有無が保證し難ければ折角思ひ立つた入港船も頭を傾ける二の足を踏む三度のものは二度に減る斯の如くして船腹掛此以外仁川に廻航する船舶の減少する理由は實に此の鐵道の遠距離運賃遞減が間接の遠因を爲して居る事が首肯さる、若し此の遞減が

◇◇撤廢　せられたら仁川への廻著は必ず增加する穀類が增加すれば入港船舶は何時何度來ても決して積荷に不都合を感じさせる事は無い樣になり荷物が多くなれば海上運賃も亦幾分は低下する事も出來相方共に享受する利益は尠くはないと云ふ事になる之れ即ち直接自己の立場を改善して船舶を招致しようと云ふ策であるが又一面に於いては現在の片手落ちに似た航路の船線を廢して仁川にも定期航路を設けて貰ひたいとは仁川當業者の要求である現在朝郵の配船狀況を見るに東海岸の船を定期就航せしめて居るに引換て西海岸には一隻の定期がない而も

◇◇貿易　の數量に於いては西海岸は遙に東海岸諸港に優越して居る試みに現在西海岸の就航船名を揭ぐると大阪浦鹽線小安丸（一、五八〇噸）越後丸（一、二〇〇噸）雄基丸門司線京畿丸（九〇〇噸）山陽丸（九〇〇噸）雄基丸（七〇〇噸）出清丸（七〇〇噸）清津敦賀線平壤丸（一、二二七噸）元山雄基線鏡城丸（三七二噸）鏡城丸（三七二噸）と云ふ數であるが西海岸には一隻の定期航路を持つものがない之等も宜しく參酌して港灣利用の實を擧げられたいとは仁川當業者の聲で又請願の主旨である（仁川）

漢江觀火大會延期

七月二十七日午後八時開催

◎甜菜好成績

朝鮮精糖株式會社に於て本年以來平南各地に播種せし甜菜は一時芽時期に於て害蟲發生せし爲め其の成績に就て當局並に會社側も强く把憂せしも驅除法の完全なると共に昨今に於ての生育成績頗る良好にして豫定の反當二千噸の收穫は現在に於ても之を見るべく前途愈々有望と認められつゝあり（平壤）

◎榮州の忠魂碑

慶北榮州在郷軍人分會にては例年陸軍記念日には招魂祭典を擧行する例なるも從來忠魂碑の設置なく式典等に差支を生ずるのみならず元同地方より名譽の戰死を遂げたる元同地守備隊の故上原步兵伍長及び赤間上等兵の靈を祭る爲め前任大塚……利益砂からざる等勞々今回愈々之が建設に決し同分會正會員、常設職員及び地方內鮮有志の寄附金百六十八圓四十五錢を以て同所榮州橋畔邑城山頂に忠魂碑を設立し去る六月十五日莊嚴なる除幕式を擧行したりと（大邱）

◎慶北繩叺製產高

慶北道廳にて繩叺製作獎勵の結果七月中繩叺生產組合大邱外七組合の在庫數は繩廿三萬五千百七十七把叺七萬一千四百七十五枚を算したるが之が價格は所在地により各々異るも平均繩は一錢七厘乃至三錢五厘叺は十八錢乃至廿六錢なるが之を組合別に揭記すれば左の如し（大邱）

（組合）	（繩）	（叺）
金泉	八、一〇九	三、四八五
大邱	八、〇〇四	二九、三一九
慶山	一八、三〇〇	二九、二一九
倭館	一五八、一一四	一、八八二
清道	五〇〇	六一五
迎日	三五、四五五	二、三五〇
高靈	四、六五〇	一、五八五
善山	二、〇五〇	三、一二〇
合計	二三五、一七七	七一、四七五

◎大田驛附屬工事

先月落成したる大田驛構內の附屬工事は今般間組が匿名にて引受くる事となり本月十日より工事に着手したるが工費の總額は三萬七千四百餘圓にて竣工期限は本年十一月十六日なりと云ふ其主要なる建築物を擧ぐれば本屋附屬、上屋新築百三十四坪八合餘、在來乘降場增築百八十三坪六合餘、渡廊下三十六坪、貨物取扱所新設四十一坪餘、本屋附屬便所十二坪五合、本屋ランプ小屋新築五坪、井戶新設等なりと因に湖南線引込線は本年中には工事に着手せざるべしと（大田）

◎夏の釜山に　涼を追ひ水亭を尋ねて＝松島より東萊、海雲臺等へ（上）

◇◇松島の仙境◇◇

明月郎女が聞るを照し　濟靜な朝君が耳を洗ふ…

紅塵を避けた松島は釜山市街を距る事約一里に過ぎぬが途中自動車の便ある僅に十數町に過ぎぬのは聊だ遺憾とする處である＝尤も一方或は杖を曳くに情調を深からしむる點があると云へばそれ迄であるが＝外人は松島の景を愛すると云ふ一眺無限の青海原白砂青松の間海水浴に餘念なき少年少女を見れば腋下の汗も何時しか去つて涼しい氣分が自から起る、同地は幾分の施設はあるが未だ徹底的海水浴場たるの設備を缺いでゐる事は遺憾であるが遠來の客をして一盞を傾け空腹を滿たす事を得るは却つて旅館料亭の櫛比する俗惡な若よりも脫俗してゐる趣きがある夫より港內に面した巨岩の下に釣を垂るゝも、亦一興である、殊に日曜、祭日の朝は老若の男女打ち連れて小波洗ふ白濱にパラソルを曳くありて背景は南鮮の避暑地として推すに足るであらう海濱の眺望を恣に收めたる嶼南半島の一角松島の瀟洒なる發展は釜山人士の留意すべき所であらう

◇◇東萊溫泉場◇◇

水を掬すれば月手に在り　耳を澄せば幽音自ら起る

東萊溫泉場は近來面目を一新して漸く避暑、避寒地として杖を曳く浴客の頻繁を極むる事となつたが夏の東萊は殊に遊客を氣分を暢然たらしむ、仰ぎ見れば西北に奇岩怪石の突兀と聳ゆる金井山あり、東南には東萊川に潑剌たる香魚の躍るあり前面の小丘は東萊城殘壘又兀こし眼を惹く、浴場は釜山を距る僅に四里餘、不完全乍ら電車もあり近く瓦電會社では道路の擴成と共に自動車數臺を購ひて利便に供する事となつてゐる、旅館は安藤華廻の蓬萊館を始め料理を以て特長とする鳴戶旅館、質實で立たうとする荒井旅館其の他四五の旅館も完全な設備が整つてゐる、滯在客は雄浪女仙の訪はれこそない山間ではあるが朝に幽幻なる松韻の囁きを聽き夕べに涼々たる東萊川に香魚を漁るも一興であらう金井瀑の飛沫に念汗を拭ふも夏爽は凄き心地するも亦面白からう、附近の眺望に倦きる浴客は更に步を伸じて巨刹梵魚寺を訪れ南鮮の金剛山と稱せられてゐる金井山に數宿を凝らした松並木の茂る三洞路を辿つて女海を遠望し西山地方の部落を脚下に瞰下して雄大な氣を味ふも亦良し先年來鮮した田村林學士は東萊と海雲臺を併せて南鮮の樂天地とすべしと云つてゐた恐らく同地方を措いては朝鮮に於ける避暑地として右に出づる處はあるまい、イザ是から又海雲臺を尋ねて……（釜山）

◎慶北道廳

◎大邱と煙草

大邱府廳にては十六日午後一時より在郷貴族商業者並に消費業者を召集し財務主任より稅令改正に關し詳細する所ありたるが引續き右施行に伴ふ値上問題其他に就き協議したるが結局不日製造業者より値上額を決定申出づる事となりたりと因に目下大邱に於て製造販賣されつゝある煙草は東亞及び金口を除き五十三種類にして內二十種類は當日既に改正價格の決定を見たりと（大邱）

新小麥…走り

平南……市場へは本月上旬より新小麥の走り出で初め相當出廻しつゝあるが未だ十分なる乾燥を見ず相場は四十四圓見當なりと唱へ居れり（平壤）

◎景氣づく

目下改修工事中なる京釜鐵道改修工事請負者の內西本組、阿川組、中野組、鐵道工業株式會社の四組に對し既成工事を除く殘工事の單價に對し京城管理局より六月二十六日附を以て三割乃至三割九分の割增工費を下附する旨指令ありたるを以て當業者は一般に景氣附きたる由（大田）

◎大邱と殖銀株

大邱に於ける朝鮮殖産銀行の株式申込は頗る好況にて十八日迄の申込受付數慶尙農銀七萬二千七百七十一株朝鮮銀支店四萬三千百八株合計十一萬五千八百七十九株に達したりと（大邱）

◎大田と白米

大田白米小賣商組合は十八日より一等三十一錢二等三十錢に値上げしたり（大田）

◎二百年前の木炭發掘　文祿役の遺跡

慶南晋州にて道長官々舍に隣れる道事務官々舍敷地を均し中化石と誤れる木炭數千貫を發掘したり右は文祿役當時に使用したる木炭貯藏場の跡なるべしといへるが此の木炭は普通に使用するこ能はざるも珍らしき記念物として頗る價値ある物なるを以て目下道廳に於て保管中なり（晋州）

◎體育早起會

◆毎朝午前六時の集合◆

早起が如何に人の健康に有益であるかは云ふ迄もない處であるが夏季になつて之等の催ほしが多く出來るのは寔に喜ばしい事である體育早起會と云ふのは仁川公立普通學校の主催で毎朝午前六時と云ふに仁川外里の消防詰所前の空地に集合し鱟井博士の所謂紳士體操なるものを實施するのであるが身心を爽快ならしめ身體の發達を計る點に於ては勿論此の上もない方法である同會では時間の勵行として開會十分前になると附近の高い處で

法螺貝を吹立て

會員の參集を促す學校職員生徒及び父兄一般人士等毎朝數十名の者が一團となつて五分間體操を行るのであるが出席した者は各自に體操實行家と云ふ印刷した出席簿を持つてゐてそれに實行日數度數等を毎日記入し月末には體重の增減を計つて如何に身體が健康になりつゝあるかを記入する事になつて居る最も面白い試みで而も頗る有益であるから一般人士は奮つて參加したが好いだらう夏の最早起一番日の出を東山の遊に眺むるのは其心持だけでも既に充分の保健劑たるを失はぬ

◎東京相撲を種に詐欺

◆鳳や千葉の名を騙て◆

…六錢の扇を一圓くらゐに…

大連若狹町劇場道具方神戶市多門通二丁目生れ福本伊助（三七）は平壤へ流れ込み田村旅館に陣を構へ一本六錢の扇子を多數に買込み東京鳳、千葉ケ崎、大翔、三杉磯等の名儀を書込み尙は東京角力協會の印を偽造して捺し恰も相撲協會より來るもの、如く裝ひ賑町長崎樓外六十五軒より三十錢以上一圓宛を騙取せしため寺田刑事に取押へらる（平壤）

水害　迎日方面被害　南鮮

慶尙北道迎日郡管內浦項地方水害狀況視察の爲め出張中なりし當松慶北第一部長の語る處によれば迎日水利組合地域內の水害狀況として今回の被害は主として左岸幹線及び大支線に止りしが地區內大體の模樣を想像し得るまけの資料は得たりと思惟す、即ち幹線大支線の破壞箇所は右岸九箇所左岸廿八箇所にして最も中大破の爲め復舊に三十日位を要すと認むるは左岸幹線上島洞部落にあり決潰延長八十間水深は約三尺當時尙六尺以上あり其他廿間以內の箇所數多なり、畓、田の被害は調查未了なるも百町步以上なるべし、左岸部被害大なり、復舊工事は比較的困難にして多額の工費を要し直ちに適當の計畫を決定する能はざるも要するに幹線の復舊を急速にし給水を速かならしめざるべからず、被害調查完了の上は組合長を上道せしめ案を具し協議決定すべきことゝせり、目下の挿秧濟面積は七百町步餘の見込なり（大邱）

農信

平北の稻作反別

本年度平安北道稻作々付反別は五十八萬九千七百六十反步にして前年に比し一割六分五厘の增加を示せり而して目下之が挿秧狀況何れも良好なり因に作付反別の最も多きは定州、宣川、龍川、朔州、鐵山の各郡なり（新義州）

慶南の陸地棉

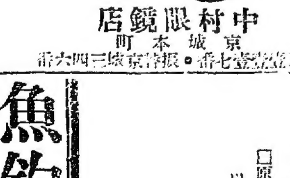
▲陸地棉獎勵以降最も好成績なりし大正四年に作付田別二千九百七十一町收穫七萬二千一百七十七斤金額僅かに七千二百六十一圓內外なりしも六年度に至りて急速に作付別の增加を見るに至り一萬九百八十三町步に對し收穫二百二十六萬九千二百二十七斤代價四十九萬二千百八十四圓とは作付別一萬九千四百七十六步收穫豫想一千五百萬斤とし價格平均……慶南に棉花代金として鮮人間に散布する金額一千二十萬圓內外に達すべしと（晋州）

職業　成功は選擇にあり…日進堂本店　大阪北區空心町二

殖產銀行株　資本金壹千萬圓…好個ノ投資物ナリ…京城櫻井町一丁目　公信株式現物賣買　新田耕市商店　電話長五七〇一八八一番

質　京城明治町二元帽町　大塚質店　電話一八四九　火災の…多額の融通

白神洋行　ペイント、油類一切　コークス、セメント　耐火煉瓦、モルタル　スコツプ、シヤブル　帶革、ロープ　機械、工具　附屬品其他　鐵材　鋼材　浪板、平板　針金、洋釘　新田帶革總代理店



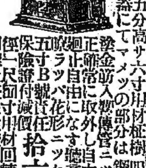
中村眼鏡店　京城本町　振替京城三四六番

魚釣具　投網卸小賣　京城永樂町貳丁目　吉備商會　電話三一四番　振替京城四三二八番　鳥捕用カスミ網各種あり

サツポロビール第一回新聞廣告意匠圖案募集
左の方法に依りサツポロビールの新聞廣告意匠圖案を募集す、乞ふ大方の士奮て應募あらん事を
□圖案　圖案中にはサツポロビールの文字及商標を表はす事
但し本圖案は新聞廣告專用にして一見讀者の視聽を惹きサツポロビールが如何に其の品質優秀にして不絕活躍しつゝあるかを一般知悉せしむるを以て主眼とす
□寸法　左右六寸上下三寸（曲尺）
□締切　大正七年八月十日迄に住所姓名明記の上京城旭町一丁目大日本麥酒會社京城出張所廣告意匠係宛郵送の事
□發表　審查の結果は大正七年八月中旬本新聞紙上にて發表す
□區域　應募者は鮮滿在住者に限る
□賞金　一等一人金二十圓及サツポロビール大瓶一打　二等二人金拾圓及サツポロビール大瓶一打宛　但し選外佳作にして他日採用したる時は賞金として金五圓を呈す
□審查　弊所主任及京城日報朝鮮新聞廣告主任者
□原稿　は一切返戾せざるものとす
以上
サツポロビール釀造元　大日本麥酒株式會社京城出張所（京城旭町一丁目）

出兵と株式の選擇
公信株式現物問屋・信託　京城永樂町二丁目　電話壹四九八番　丸五商會　長田有晴

錢莊部開設と營業所移轉
大正七年七月十五日
滿鮮證券信託株式會社　證券部　錢莊部
電話　一九三番　七七四番　二五二番


大聲蓄音器大景品　附責任販賣
大景品　拾六圓　拾參圓
發賣元　大阪南區高津四番町　帝國蓄音器商會

塚原卜傳

第百四十二席　悟道軒圓玉口演

思ひも寄らぬ彈正左衛門の首を一刀に刺し貫ぬいて船からヒラリと躍上つたる一人の男、大地に響く大音上げて○『ヤアヤア塚原小太郎殿其他の方々にも安堵あれ、仇彈正左衛門の首級は斯いふ拙者が討取つたり』と呼ばつた、烈しき戰ひの中にも此聲が耳に入つたから小太郎勝義、抑何者が來つて力を添へるかと振返つて其武士の面を見ると吃驚した、乃ち此人は別人ならず、上泉伊勢守門下にして塚原と並んで龍虎と稱されたる神陰流の達人出羽國上戸澤の住人磯端伴藏秀國其人でありまする絶て久しき秀國が思ひも寄らず此處へ乘込んで助勢をして呉れる其上に討洩したりと思ひし彈正の首を切取つて呉れたから勝義大に喜んで『イヤ之れは思ひ掛けなき磯端氏、烈しき中ゆゑお禮も申上げられぬが、能くぞ御助勢下された、勝義再生の喜びでござる』伴『委細の話は後に申上げる、何に兎もあれ眼前の急難、早く切破つて落ちずんば大崎、黒沼石の卷、伊達の人數押寄來つて退口難儀と相成らん、御身は彈正の首を守護して早く一方を切破り一先づ船にて金華山へ遁れ給へ、拙者は御一同に力を合せ此處を切破り跡より追付き申すべし、イデ伴藏が一働きして敵味方の眠りを醒さん』と彈正の首を小太郎に渡し、自分は四尺に餘る大刀を眞向に振翳して入亂れたる大勢の中へ面も振らず飛込んだかと思ふと當るに任せてバッタバッタ バッタバッタ前後左右に切つて落し、四角八面に薙立る上泉の門下にて虎といはるゝ伴藏秀國が刀の目貫の折るゝも厭はず猛烈に戰して切捲くる、其勢ひの鋭さ恰も電光石火の閃くごとく大浪の岩に當つて碎ける如く、亦猛虎を驅つて群羊の中へ入るごとき有樣にて伴藏の刄に當る者は身體手足全きものなく一揮ひに五人十人首は宙天に舞上る、大變な豪傑が出て來たもので上泉一門の面々も之に力を得て○『ソレ磯端氏が助勢に來つたり、伴藏殿に劣るな』とあつて一同必死になつて突立て切立て忽ちの中に一方を討破つて岸邊へ立退き船へヒタヒタと打乘つて漕出さんとする、除さじ洩さじと追來る伊達の人數を邪魔立するなと一同及の續く限り切伏せる、此威勢に辟易いて流石の伊達の同勢に於てもドッと許りに崩れ立ち、ワーッと跡へ退がる、其間に一同船に打乘り、腕の續く限り艪を押して、神合の方へ走り出した、小太郎は惡七兵四郎を伴ひ之亦一艘の船に乘つて沖合へ走らし、野々島沖にて一つになつて金華山へと漕寄せ來り、一同茲で上陸すると、金華山の麓から百四五十人の人數がドッと押出して來たから一同大に驚き、茲にも既に伊達の同勢が居るかと一刀の柄へ手を懸けると伊『各々決して心配なさるな、アレは最上出羽守の家來衆、伊達の同勢ではござらん乃ち御邊方を迎へるため此地まで出張されたる人々でござる』といつたから一同も漸く安心した、間もなく大勢の中から二三人の老人が出て來て○磯端氏首尾は如何でござつたか　伴『イヤ事急にて各々方の御手を煩はす間がござらんに依つて拙者一人にて助勢いたし、幸ひ無事に切拔け引上げましてござる』乃ち之れに居りまするが塚原小太郎、餘は柳生神後丸目疋田を初め一同の者、伴藏の兄弟弟子でござる、イヤ各々にはまだ恐しき話をいたさんが方々は最上出羽守殿御家中にて塚原氏の仇討を助勢のため態々山形より出張されたる御面々、天童越後守殿、秋保因幡守殿を初め歷々の老臣方』と聞いて小太郎初め一同仔細は分らぬが兼ねて聞ゐた最上家の老臣でありますから進み出で、頭を下げ叮嚀に挨拶をする、伴藏が『方々にも定めし不審に思召すであらう、伴藏が仔細をお話し申上げる』

○龍飛講會　目下仁川山手町に居住せる講家館龍飛氏は夙に渡鮮の道に志し多年講究研磨して一新機軸を立てんとし去る二十五年の頃歐米に遊びて斯道の研鑽を重ね西遊六年にて歸朝東京府下に寓居して大いに其の蘊蓄を傾けて斯界あり今回金剛の觀光を試みんとして朝鮮に來り過日來仁川に居をトす此の機に於て同好の有志相圖り龍飛會を開催して汎く師の作品を頒たんとして之が會員を募集せり而して同會は來る二十八日頃陳列會を開催し歷史人物美人花鳥等の繪畫を抽籤を以て會員に分つべしと會費は十圓尚ほ同師は一般揮毫の依賴に應ずべしと

○青年會代理部　仁川基督青年會は會の維持上特殊の機關を設置する必要に迫られ今回代理部なるものを設けてメリヤス其他夏物雜貨の販賣をなす事となり土曜日曜に限て同會館樓上に陳列し普通より一割乃至一割五分引の安値を以て一般の購買者に應ずべしと尚ほ常に於ても同館に備へあるを以て何時にても販賣すべしと

○大田の暑中休假　大田中學校、大田公立尋常高等小學校は何れも七月二十一日より暑中休暇に入り大田公立尋常學校は八月一日より同三十一日迄一箇月間大田簡易工業學校は八月五日より同三十一日迄四週間の暑中休暇を取る筈なり(大田)

暦

七月廿一日　九星　舊六月十五日　庚午　本命六白　乾閉　友引

▲六白　調度にゆかぬ事有日新事見合すべし方は吉暗劍殺　▲七赤　思慮なる日轉居入學旅行名弘棟上求職金件婚禮主人取なす等萬吉　▲八白　拍子よき日轉居開業入學名弘金件求職出漁婚禮定規薬等萬吉　▲九紫　苦勞さ事有日新事手控落かる日轉居開業入門名弘求職出漁は吉萬事可慎にせらるべし　▲一白　親類な藥品薬等萬吉　▲二黒　金運の日轉居旅行入學名弘建築出漁婚禮金融薬等萬吉　▲三碧　謹の日新事手控落事は吉衛生を旅注意　▲四綠　良し短しの事有日新事手控落事は吉萬事付て計らるべし　▲五黄　錦衣昇殿の日不圖立身出世の道に出づ進て吉慾張事業なるに妙

演藝案內

京城壽町　電話五七八　壽座

新派さゝ浪會一行　當る七月二十日第六回目　一、藝題　朝鮮新聞小說　陰ひなた　全八場

[illegible]

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　櫻井町　電話八七三　大正館

當る十九日より新寫眞提供　●實寫　漁島　●伊太利コロナ會社傑作　探偵活劇『片腕』全三卷　◎第五回『ダイヤノ一』第十編『鋼鐵の心』上場　△尾上松之助一派大車輪　◎舊劇『津の國家小松』全四卷　△日活東京派大合同一派出演　◎新派悲劇『櫻牡丹』全四卷

[illegible]

早川演藝部直營　活動寫眞常設館　有樂館

七月十九日より公開　米國ユニヴァーサル會社特作　◎人情活劇『山家の娘』全五卷　◎世界的大偉人『ナポレオン』一代記

[illegible]

本町通二丁目　電話二六〇番　浪花館

七月十日より開演　▲京阪落語研究會一行　出演順　▲落語　▲落語(物まね)　▲落語(音曲)　▲落語(手踊)　▲人情(落語)　▲大切

[illegible]

天然色活動寫眞常設　電話二六三七　二六六　黄金館

當る七月十八日より臨時特別興行　▲新派悲劇『綠ケ池』全四卷　▲『百萬弗の秘密』第五六編

[illegible]

現代婦人は　みんな……みんな……　國産靈藥　中將湯黨です

今歐米でも振出藥は大流行

近代の醫學

……は、從來のやうな譯も分らぬ西洋藥ばかりを[illegible]醫療界に[illegible]なりましては、振り出藥を時代遅れだの舊式だのといふ醫師がありましたら、それこそ新知識に遅れた[illegible]でムいませう。

心ある家庭

……では、中將湯より他の婦人藥は絶對にお用ひになりませんです、廣告を利用して病める人を迷はし誘ふやうな山師藥はまるで對手になさいません、中將湯のやうに世界的に普及した責任藥なればこそ安心してお用ひになられるのです。

事實が證明

中將湯の賣行高は、他の婦人藥などとは比較にならぬ程の多額を示して居ります。この事實こそは中將湯の眞價を物語る活證據でムいまして、ツマリ藥效が他の同效藥よりもズンと飛拔けて卓越して居る結果、一度の試用者が永續的の愛用者となるからでムいます。

定價　二日分　二十五錢　四日分　五十錢　一週間分　八十錢　二週間分　一圓五十錢　三週間分　二圓二十錢　五週間分　三圓二十錢

●加減藥あり容態詳く御申込あれ　一週分　壹圓　三週分　二圓七十錢

血の道・子宮病

●子宮病　●血ぶさり　●下腹痛　●腰加答兒　●腸高ぶり　●婦人肺結　●產前產後　●逆上頭痛　●月經滯り　●逆腫流產　●內膜炎　●こしけ　●血の道　●氣ふさぎ　●夜眠れず　●腰足冷込　●つはり　●月經不順

米國製　特許　創案　自働インキ含裝置『パインビジネス』ペン

正十四金ペン

によりて金ペン先耐久力が期せらるゝのみならず一度『インキ』を含ますれば宜く數頁の使用に耐る

定價　金壹圓九十五錢

進歩的經濟的文房具の需要に加はりたるは實に平常使用の『ペン』先に金製のものを使用するの最も適切なるを認めたる結果なり『ペン』先を裝する軸エボナイト而して此の金製に到りては唯『パインビジネス』『ペン』あるのみ尚裝飾せし『ペン』の背後に密接する頗る理想的の筆文具にして各銀行、會社、官廳より御用命給はりたり　特殊創案の篏入物

賣捌　京城太平通　京城日報代理部　振替三〇〇番

東京市日本橋區通三丁目　津村順天堂本店

大阪市東區(?)　津村順天堂支店

汽車　京釜線(南行)　同(北行)　關釜連絡　湖南線(南行)　同(北行)　京義線(北行)　同(南行)　京仁線(仁川行)　京元線(北行)　同(南行)　[illegible]

京城日報

第五版

本紙定價 一ケ月七拾五錢 郵税共
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯 六一九番 營業 三二六番 振替京城三〇〇番

……を以て一般に近海出稼……傭船料の……に左の解決を見たり 日本郵船 一萬噸 四圓五十錢 三ツ物産 同 大阪商船 同……間石炭十三圓、九……十四圓、米國内地間鐵……瓜生内地間砂糖三圓に……合せ少く大型傭船料は依然保合……を持續し小型傭船料は氣配……々弱し(東京)

……月上旬に於ける本邦米輸出總額は三十五萬三千圓にして前年同期の六十五萬九千圓に比すれば十八割……量の減少となり一月以降七月上旬……し前年同期の……すれば實に九十割強の激增となり一月以降上旬迄の累計二千五百五……

◎日露合辨事業

中日實業株式會社の倉知鐵吉氏は滿蒙北滿洲及び支那内地を歴遊したる際哈爾賓に於て露國實業家こ……りたるを以て近日發表の運びに至るべし資本金は日露双方……萬圓宛を出資の計畫なりこ(東京)

朝鮮貿易の趨勢(四)

戰前戰後の推移

一般貿易の趨勢は以上の如し更に進んで朝鮮貿易上各種貨物の需給の由つて起るべき原因並に之が消長關係如何に付産業こ貿易この關係を觀察せんこす而して此原因は

△内部及外部の 二方面に分類するを得今内部の原因面も……して一般貨物輸出入の由……に依り出入貨物を分類……(一)……輸移入するもの(二)生産物不足の爲め輸移入するもの(三)……輸移出せらるゝもの(四)産業……輸移入の增加せるもの(五)……發達の爲輸移入の減少せるもの(六)……發達の爲輸移出の增加せるもの(七)産業の發達の爲輸移出の增加せるもの(八)産業發達の爲輸移出の減少せるもの(九)輸移入の增加に基因し輸移出の增加せるもの等九類に區分觀察するを

△便宜こすべし 今以上九類の物品消長如何に就き戰前(自明治四十三年至大正元年以下單に戰前こ稱す)及戰後(自大正四年至六年以下單に戰後こ稱す)に於ける各三箇年間平均統計を比較し之を說明すべし第一類(生産皆無の爲め輸移入するもの)に屬するものは現在に於て砂糖麥酒綿絲布類一部毛織物絹織物の一部洋紙類鐵類諸器械類の主なるものにして現行貿易統計項目上百八十五品にして戰前平均額合計二千八百四十八萬餘圓なりしもの戰後四千百八十七萬餘圓即ち增加額一千三百三十八萬餘圓を計上し更に各同年間の輸移入總額に對する割合を見るに戰前に於て

△五割七分なり しが戰後に於て五割九分に增加せり是れ素より半島經濟力の膨脹に依り各種貨物の需要增進に隨伴せる當然の結果にして敢て怪しむに足らずこ雖も今や各地に勃興し若しくは勃興せんこせる企業の進展に依り近き將來に於て砂糖麥酒綿絲布洋紙類の如き之が生産を見る可きを以て漸次第二類又は第五類に編入すべきの期に到達すべきを信ぜんこす(第二類生産不足の爲め補充的輸移入するもの)に屬するものは粟小麥粉食塩水産物酒類等の食料品打綿綿布類(一部)金屬及金屬製品(一部)亞鉛石炭陶器木材藥及燐寸等を主なるものこし

△合計百八十四 品にして戰前の平均額合計二千五十四萬餘なりしもの戰後に於て二千八百五十萬餘圓即ち七百五十一萬餘圓を增加せりこ雖も是亦朝鮮經濟の膨脹に伴ふ當然の現象なり而も之を各同年間に於ける輸移入額に對比するこきは戰前に於て四割一分を占めたるもの戰後三割九分に減少せり畢竟半島生産力の發達を意味するものこ稱すべく此の趨勢は將來往々進展すべきや疑ひを容れざる處也第三類(輸移出品にして同時に特殊の理由により輸移出せらるゝもの)に屬する主なるものは米、豆類、乾、鹽魚、絲繭、莚、皮、皮革類、石炭、木材、皮革製品等にして合計三十五品なり

米國軍國經濟

工場動員と米國

國の米國は實に多事多端國民の一擧手一投足悉く是戰爭の爲めの活動にして男子は募兵に應ぜずんば工場に走り女は之等兵士を歡呼して勇氣を鼓舞し或は赤十字社員こして醵金の募集に熱狂的活動を爲し戰爭氣分の旺盛なる眞に驚異に値せり斯くて贅澤を戒め勤儉を風全米國に漲り眞に非常の場合に處する國民各個の態度を發揚せるが雖に一度工業動員下るや工場は競へり現下海港の工場こ云はず山間の工場こ云はず船舶材料の製造政府の製造命令品の多からん事をに各鐵工場は晝夜の區別なく活動し工場の資格に依つて腕は腕、足は足、胴は胴其適當の製造品種寸法を指定し政府より工場役員の半數を送りて指揮せしめ殆んご政府事業の如き觀を呈せり其製作は斯の如く分業的にして而も連絡あり統一あり指定造船所に送致され其處にて之を組立て巨船を立ごころに竣成せしめんことに全力を傾注し居れり

△船鐵交換好感 由來一般米國人の對日感情は從前に於ても別段疎隔し居たりこ云ふ程にはあらざるも米國は參戰以來前述の如く工業動員を實行し各鐵工場は悉く政府事業なるかの如き有樣を呈し而も其製造品は悉く船舶材料にして如何に船腹の調達に狂奔せるかを窺ふに足り大袈裟なる米國の造船計畫の聲明は事實こして現はれんこしつゝあり去れば米國が日本より船腹の供給を受くるに就いては鐵を與ふる代りに船腹を受くるものこ解するよりも寧ろ日本が船腹の建造に苦しみつゝあるを以て日本を援助するものなりこ一段の善意を以て見船鐵交換成立以來更に好感を齎したり殊に石井駐米大使は先に特派使節こして渡米し米國上下の歡迎を受け其名聲は米國の人口に膾炙され居れる關係あるを以て一層好感情を與へ居れるが如し

△鎔鑛爐到著期 米國にては國内保存品名簿なるものありて之に登錄せられたるものは殆んご總ての物にして勿論其内に輕重の差ありこ雖も鎔鑛爐の如きは就中重要の部に屬するものなり然るに米國人は餘りに物に拘泥すること無く斯る保存品の輸出許可を得るには極めて面倒なるも一面に於て其理由闡明すれば淡々たる態度を以て之に對せり去れば東鐵註文の鎔鑛爐にしても輸出許可の手續は容易に受理せられ同許可書の下附を見たり余は先月二十四日貨車五十四車に分乘送致せる百五十噸の鎔鑛爐一基分を船積し居れるやを認むべく『タコマ』に赴きたるが恰も便船『アルゾス』に積込荷役中なりしが余が同地を去つて歸朝する迄に二十車分を積込出帆したる旨の通知屆き居り後は次便にて廻送せらる、答なるを以て該鎔鑛爐全部の戸畑著は八月一杯には到著すべし他の一基に就いては言明の時期にあらざるこ共に其自由を有せず

△米國こ機械註文 然るに今後の機械註文に對する米國の態度は自國用なるこ外國用なるこを問はず果して如何あるべきや勿論米國の法令に依る時は製造引受け工場は『プライオリティ、サーティフイケート』の許可を得ざるべからず即ち何々若くは何國より何々の註文を受けたる故市中より何々の材料を購入するこの許可を受けざる可からず故に註文すれば引受けるには相違なきも其竣工荷受けの時期は勿論希望通りに進行する事は極めて困難を告ぐるに至らんか(某米國歸來談)

六年度剩餘金

歳入超過莫大

△六年度の現計 大正六年度に於ける國庫の現計は八月末に於ける主計簿締切の上ならでは歳入歳出並に剩餘金の精數を知悉する能はずこ雖も六月末に於ける現計を見るに六年度の國庫の狀況は極めて順調にして是を前年度に比すれば租税に於て八千一百萬圓、印紙收入に於て一千四百萬圓、官業及官有財産收入に於て二百卅九萬圓の增收を示せり即ち次の如し(單位圓)

	六年度	前年比較增(△は減)
租税	[illegible]	[illegible]
內譯		
地租	[illegible]	[illegible]
所得	[illegible]	[illegible]
營業	[illegible]	[illegible]
酒税	[illegible]	[illegible]
砂糖	[illegible]	[illegible]
織物	[illegible]	[illegible]
取引	[illegible]	[illegible]
關税	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
印紙	[illegible]	[illegible]
官業	[illegible]	[illegible]

△豫算超過莫大 右は前年度現計この比較なるが更に六年度豫算計上額に比するに著しく實收の超過を示し即ち官業官有財産收入に於ては豫算に比し四千八百九十二萬五千九百七十八圓の減少なるも租税に於ては一億九百六十萬二千七百九十九圓又印紙收入に於ては二千百九十七萬二千五百四十七圓の增收を告げたれば右三者を差引計算せんか尚八千二百六十四萬九千三百六十八萬圓の豫算超過を示すに至れり即ち次の如し

	六年度豫算	現計(六月末)
租税	[illegible]	[illegible]
內譯		
地租	[illegible]	[illegible]
所得	[illegible]	[illegible]
營業	[illegible]	[illegible]
酒税	[illegible]	[illegible]
砂糖	[illegible]	[illegible]
織物	[illegible]	[illegible]
取引	[illegible]	[illegible]
關税	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
印紙	[illegible]	[illegible]
官業	[illegible]	[illegible]

右の内官業官有財産收入に於て四千八百九十二萬圓の減收を示したるは

△一見歳入狀態 の不良なるを語るに似たりこ雖も決して然らず特別會計に於ける益金の一般會計繰入は多く七月中にして現に製鐵所益金の如きは六月末の主計簿には僅に一千五百九十四圓を計上せるのみなれごも豫算額は實行豫算こ追加豫算こを併せ一千六百萬圓に上るの實況なれば八月末主計簿締切後に於ては恐らく三四千萬圓の官業收入超過を生ずべく右三者の豫算超過を合せんか六年度の剩餘金中に繰込むべき歳入超過額は一億七千萬圓内外に上るべし此外五年度よりの繰越剩餘並に六年度の歳出不用額を合せんか六年度の剩餘は更に二三千萬圓の增加を來すは最早疑ひの餘地無きに至れり(東京)

空中の勇士

廿三歳の佛國飛行家

◇千九百十五年六月八日、佛國のヴオーシエンヌにある『鶴の艦隊』こ名づけられた飛行機隊に、近頃學校を出た許りの一人の若い操縱手が呼著するこいふ事であつた。此日司令官のブロカール大尉は用事があつたので、部下のヴエドリーヌに代りて出迎ひに行つてくれるやうに賴んだ、そして言つた『今年二十歳の小僧で、丁度『娘ッ子』のやうださうだが、それで居て却々大膽なものださうだから』こ

◇ヴエドリーヌは、斯樣云はれて居たもの、『其小僧』が現はれた時には流石に吃驚したのである、頭の毛の黑い、痩ぎすな少年で、其制服のびつたりこ身體に締まつて居るのは益々彼をして痩ぎすに見せたい、併し年にはませた成熟こ眞面目な容子、殊に其眼に現はれた一種の光りが、其顏貌のやさしさこ驚くべき對照をなして居た、

◇此眼此光、これが他日佛國民をして驚嘆せしめた空中の英雄ジョージ・ギヌメールであつた

◇ギヌメールは千八百九十四年に巴里に生れた、戰爭の起る前の年に中學校を卒へて高等數理學院の入學試驗準備をして居たが、その身體では難しいこ思はされたので、ビアリッツの港に保養に出掛けた、その保養中に戰爭が勃發したのである

◇彼は飛行家にならうこして志願したが、身體が虚弱だこ云ふので拒絕された、三度迄志願したが總て拒絕された、四回目に紹介狀を携へてボーの飛行學校の敎官チエリー大尉を訪ね、漸こ機械師見習に採用されたのである

◇此機械師は却々勤勉であつた、そして能く其辛い生活を耐へ忍んだ、之が爲めに操縱手になるこを許され、見習こして其技術を習つた上、伍長こして『鶴の艦隊』へ廻されたのである

◇彼は『鶴の艦隊』に到著してから次第に其天性を發揮した、そして毎日の冒險生活に於て、其冷靜な態度こ卓拔なる技倆こを示して飛行家こして偉大なる資格があるここを證據立てた、千九百十六年十二月廿四日に敵機を打落したのを初陣こして今日迄敵を破るこ五十四機こ云ふ其間絕はず死こ握手して左腕に二箇所の傷を受けた丈であつた、彼は今、大尉である

並行線(三十五)

瀧閑村

梅雨まで腐るやうな梅雨季に入つた。傘の乾く暇が無い。庭には雜草がいやが上に生ねて、緣の下には名も知ぬ茸が頭を擡げる。降らなくても空は概ね灰色に、今にも泣き出しさうである。稀に晴れるこ强烈な日が眞向に射て、水蒸氣を蒸發させるので、いかにも蒸暑い。蒸も米綿もベタベタして、氣持の惡い汗がジトジトこ額に沁く。

宣太郎は段々に小遣錢にも困るやうになつて來た。辛うじて全癒した手こ、まだ癒ねきらぬ體こで働かねばならなくなつた。

江藤の娘を娶つて、事業に沒頭しようこ思つた宣太郎にもまだ二分の未練があつた。朝鮮化學製紙の事業こ靜子この戀を幣履の如く棄て去るに忍びなかつた。併し社長に對して此方から斷交同樣な事を仕向けた以上、如何こも恢復すべき方法が無かつた。

加之、靜岡には餘り知己を持つて居らない宣太郎は今更に靜岡で何かの事業に携はる見込も無く、又雇はれる的も無かつた。

『斯うしてグズグズして行つたらどうなるだらう』こ考へたことは二度や三度では無かつた。朝鮮から持つて來た衣類の中で、差向き必要で無い冬のものを少し賣拂つた。それでもまだ明かに江藤の娘を娶ふこ云ふ返事をするに躊躇した。そこには或はまた靜子から何等かの音信があつて、活路が開かれはせぬか……馬鹿なこ自分を嘲笑し乍らも、心の一隅にはそれを待たない譯に行かない程の窮境に陷つた。

併しそれも空頼みであつた。朝鮮からは其後一通の葉書すら宣太郎には落ちなかつた。斯うして無駄に日を過ごすことが、妹にも義弟にも面伏になつて來た。さりこて行く所も無かつた。

宣太郎は此頃錢湯へ行く事が唯一の慰藉になつた。三時頃まで誰も入らない時を狙つて手拭を提げてこツそり行く。そして少し温い程の浴槽の中に浸つてゐる間は、苦しい思ひも無く、憚る眼も無かつた。恐ふ處も無いのを、出來るだけゆツくりしてゐた。今の宣太郎には何よりの逃れ家であつた。

或日澤山の附箋の付いた郵便が來た。披いて見るこ、それは母校の同窓會の案内であつた。七月十五日を期して東京の某所に同窓會を開會する。會費何圓……こあつて發起者の名が十人餘も並べてあつた。其發起者は東京の同窓生で皆色々な肩書を持つてゐた。そして同窓生の名簿を同封してあつた。

名簿を繰つて見るこ、同窓中には米國へ行つてゐるのもある、南洋へ行つてゐるのもある。官界に在るのもあるが、多くは自分で事業をしてゐるか、大きな會社の事業に從事してゐた。フト自分の名を見るこ、

朝鮮化學製紙株式會社技師

こ記載されてゐた。宣太郎は冷笑されたやうな、可厭な氣持になつた。腕を叉んで考へ込んだ。二度咲きの庭の白い薔薇がハラハラこ崩れた。雨は梧の廣葉を打ちよき叩いてゐる。

商業登記公告

株式會社朝鮮商業銀行ハ大正七年七月拾貳日各新株ニ付金拾貳圓五拾錢宛拂込ヲ結了シ各新株ノ拂込金額ヲ金參拾七圓五拾錢ト變更シタリ
右大正七年七月拾七日登記
京城地方法院利川出張所

商業登記

合資會社永信社 代表社員孔學祚辭任ニ付改選ノ結果……
[illegible]
右大正七年七月拾九日登記
京城地方法院開城支廳

一ダイナマイト外參點
右購買スル詳細ハ七月貳拾貳日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

第六十二回營業報告

貸借對照表 貸方(負債之部)
資本金 [illegible] / 積立金 [illegible] / 配當準備積立金 [illegible] / 別途積立金 [illegible] / 保險積立金 [illegible] / 未拂配當金 [illegible] / 支拂手形 [illegible] / 貸代金 [illegible] / 引受爲替手形 [illegible] / 社債 [illegible] / 借入金 [illegible] / 預り金並ニ未決算金 [illegible] / 未拂社債利子 [illegible] / 職工保護獎勵資金 [illegible] / 前期繰越金 [illegible] / 當期純益金 [illegible] / 合計 [illegible]

借方(資産之部)
拂込未濟資本金 [illegible] / 工場原料品仕掛品製品 [illegible] / 銀行當座預金別段預金 [illegible] / 預ケ金 [illegible] / 假出金 [illegible] / 地所 [illegible] / 建物 [illegible] / 機械 [illegible] / 什器 [illegible] / 有價證券 [illegible] / 工場準備品 [illegible] / 工場增設金 [illegible] / 現金 [illegible] / 合計 [illegible]

損益計算書 收入之部
製品及半製品出來高 [illegible] / 屑物出來高 [illegible] / 收入利息 [illegible] / 雜益及株券書換料 [illegible] / 合計 [illegible]

支出之部
原料品及半製品消費高 [illegible] / 社債利子 [illegible] / 諸税 [illegible] / 中野前頭取慰勞金 [illegible] / 營業費 [illegible] / 工場費 [illegible] / 合計 [illegible] / 差引金 [illegible]

內
建物機械什器要具減價償却 [illegible] / 再差引當期純益金 [illegible] / 當期純益金利益金分配 [illegible] / 積立金 [illegible] / 職工保護獎勵資金 [illegible] / 社員恩給資金 [illegible] / 役員賞與金 [illegible] / 配當金(年四割五分) [illegible] / 後期繰越金 [illegible]

右之通候也
大正七年六月二十五日
内外綿株式會社
取締役社長 川邨利兵衛
取締役 阿部彦太郎
同 武居綾藏
同 天野喜之助
同 川西繁之助
同 大田卯三郎
監査役 浮田桂造
同 牟田虎之助
同 ……
任期滿了ノ處重任ス

大阪 江戸堀 福井商會本店

東洋一の魁 新形流行
内田式アトロンク鞄は一度御使用あれば其堅牢優美なるに一驚あらん
鞄と靴 御遊行用
◎定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田久保町角
内田靴鞄問屋
電話 新橋 一五二一・一八七一

最新刊
著者 定價
名所旅行案内 定價一圓二十錢 改正新訂
近代倫理學大系 三、五〇
東部新古俗語 一、五〇
關税及稅關 一、五〇
島崎藤村著 海へ 定價一圓三十錢
井伊大老茶道談 一、五〇
トルストイ全傳 一、二〇
小形 天外著 一人傘 五十錢
愛する心の爲めに 一、二〇
エマアソン社交論 八五
マドロスの悲哀 一、〇〇
時 こ 人 一、〇〇
鮮語階梯 定價十六錢
日題聖人正傳本多日生著 一、六〇
京城本町 大阪屋號 電話三二八 振替京城一五七三番

ゴルフはタカヂアスターゼを主薬とせる美味の健胃消化劑にして胃腸病及肺結核の消化補給劑として卓效あり。
定價 二十五錢 五十錢 一圓三十錢
東京室町 泰昌製藥株式會社

京城電氣會社 製造 特約販賣
コールタール
龍山漢江通り八 電話四九番
金物商 島田忠作商店

縮刷 朝鮮法規提要
(內容) 憲法、法例 官吏 賞恤、恩給 文書附印鑑 地方行政 社寺、宗教 兵事 敎育 衛生、警察 財務 土地、林野、河川 法務 產業 交通、電氣
▲ポケット形一千餘頁 ▲總クロース函入美本 ▲定價二圓二十錢 ▲特價一圓八十錢 送料八錢
朝鮮法制研究會
賣捌所 京城太平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番

神戸ルツボ會社製 弊社特製各種合金メタル 黑鉛製ルツボ
京城太平通り二丁目 株式會社常盤商會朝鮮營業所 電話長五七六番
朝鮮一手販賣店
特約販賣店 京城府南大門通り五丁目 毛利商店 電話長五貳三番

東洋大學教授 曹洞宗大學教授 加藤咄堂先生著 禪學要義 定價金一圓 郵税金八錢
本書內容 第一緒言、第二禪の淵源、第三禪の系統、第四禪の概念(參同契講話)第五禪の教理(五位頌講話)第六坐禪の實修(坐禪儀講話)第七禪の道德(敎授戒文講話)第八禪の話頭(從容錄數則講話)第九錬心の工夫(十牛圖講話)第十禪の應用以上
加藤咄堂著 佛教概論 一圓八錢
賣捌 京城本町 大阪屋號 電話二五七三番 振替京城六〇八二〇八六番
東京小石川區原町六 丙午出版社

銀鉛鑛 亞鉛鑛 鑛石買入
御賣鑛者に對し精々御便宜取計可申候多少に不拘御申越相成度候
京城府黃金町二丁目百四十八番地
信託業 商品陳列館の下 電話一四六四番
明星商會

時計 貴金屬 指輪 眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目 京城郵便局前
三浦天龍堂
電話 一〇二三番 振替京城三〇四〇番

價格至廉 香味芳烈
大連燒酎
大連市 大連燒酎製造所

醇良清酒

釀造元 大阪府堺市 肥塚源次郎
特約販賣店 京城本町一丁目 佐藤牧太郎 電話長二九番

新式 魔法瓶

△圓筒形 三合入金二圓三十錢 四合入金二圓五十錢 五合入金三圓
△水筒形 三合入金二圓三十錢 四合入金二圓六十錢
送料 鮮内二十錢 鮮外四十五錢
京城太平通 京城日報代理部 電話六〇〇九番 振替京城三〇〇番

出兵問題

△米軍浦鹽派遣
米國は馬尼拉兵三百及び京津鐵道守備兵若干を浦鹽に派遣しチエック軍援助に決せり（奉天特電）

△佛派遣兵二百名
佛國は○○より浦鹽に兵員二百名を派遣す可しと傳へらる（北京電報）

◇朝鮮軍聯隊長以下異動
大邱第八十聯隊龍山第七十九聯隊、金澤第三十五聯隊に對し編成上の都合に依り聯隊長以下大隊長の異動あり（十九日午後五時五十分東京發至急電報二十日午後五時着）

◇セ軍ダウリヤ退却
我が義勇兵一名戰死を遂ぐ

十五日朝ダウリヤに排撃したるセ軍は一時同地を占領せしも頑強なる敵の逆襲に遭ひ非常の苦戰に陥り遂に多數の死傷者を出し退却せしが此際我義勇兵山口縣人土田茂一氏戰死其他六、七名の重輕傷者を出せり（長春特電）

◇佛軍二地奪取
アント、イウルの西方に於て佛軍はボルト、デロージの二地を奪取せり（巴里電報）

◇借欵反對檄文配付
來る廿八日長春支那劇場に於て再び借欵反對演說會を開催せんとの準備中にて檄文十萬枚を作り歩兵及び巡警を以て是を配付せしむ可しと又長春より納付す可き國稅も一時發送見合す可しと（長春特電）

◇孫徐兩氏疎隔
廣東討伐に向ひたる奉天軍總司令官孫烈臣氏は徐樹錚氏と意見一致せず近く歸奉の報ありしが楊參謀長も亦離意を漏らせりと（奉天特電）

◇雷氏張督軍會見
復辟當時の首謀者たりし雷震春氏は十八日吉林より來奉張督軍と會見せるが氏は張勳特赦問題に關し北方督軍側の結束強固なるを歡び居れりと（奉天特電）

◇鮑督軍
吉林督軍鮑貴卿氏は北滿の風雲急を告げ來れると共に近く奉天に來り張督軍と協議す可しと（奉天特電）

◇陳中將督軍會見
吉林省森林借欵反對運動鎭撫の爲め吉林に赴きたる陳文運中將は十九日奉天に於て張督軍と會見したり（奉天特電）

◇殖銀劵滿洲好況
滿洲に於る朝鮮殖產銀行株式公募は非常の好成績にて朝鮮銀行奉天支店の申込數十三萬八千八百株同行大連支店十二萬餘株に達し其他の各地共多數なるが公募八萬株に對し百倍の申込に達す可し（特電）

◇宮尾民政長官
宮尾民政長官は北滿及び鄭家屯方面の視察を終へて十八日來奉し十九日南下せり（奉天特電）

◇小寺代議士
小寺代議士は十九日朝來奉せり（奉天特電）

◎錠前の徴發
獨逸の原料缺乏[illegible]く徴發して居る、又寺院の釣鐘も[illegible]貴重視される、吾人は貨幣の實質[illegible]よりして貨幣價値に見積り得ざる貴重のものがある、例へば鐘の銘[illegible]又は其模樣等の如きものであつて[illegible]報告に依れば六百軒餘の市人の家[illegible]扉を寄代へたと云ふことである、[illegible]鍵類を徴發して居る、次に鐵と石の[illegible]錠の缺乏であるが、元來此二品は[illegible]一流の料理店も卓布無しである、[illegible]以外の衣類は相當の手數[illegible]

▲騰貴各品 玄米及び精米は正米の手持筋の先高見越し賣惜しみ並に相場不足により漸次上向の傾向を改め干明太は入荷在荷共に潮く値頃も強調を辿りつゝあり紙は入荷あれど需要は入荷の量を超過し高値續き綿絲は內地輸出の好況にて氣配高く和金巾は目下閑散期なれど相場の浮沈定まらず入荷少き際當用口の需要多く在荷漸減し價格騰調綿花は入荷在荷共に少く繰綿は賣行きなきも打綿は見込高により大口取引あり石油は不需要期にて賣行き減じ在荷も亦乏しければ輸入困難のため騰貴金物は延築期に入り賣行きよく品薄のため上向きつゝあり

▲低落保合 大麥、小麥、大豆、眞苧、葉莨等は或は在品の多量或は入荷の多き事或は需要不振等のため大勢低落の傾向にあり木綿は需要季を過ぎたるも入荷薄き爲保合なり、松挽材は同じく入荷多く保合の商勢にあり、薪炭は需要減退し相場保合、牛皮は生牛高のため屠殺少く入荷振はず精糖は買入れ手控麥酒は先月來先高を見越し買込み旺盛を呈せしも爾來凉氣のため賣行き捗々しからず相場も保合居れり

◎漢銀株主總會
株式會社漢城銀行にては既報の通り二十日午後四時より株主總會を開催して本年上半期諸計算書を承認し利益金分配及び東京支店設置の件を原案通り可決し尙ほ取締役及び監査役各一名滿期改選と同時に取締役一名及び監査役二名增員選擧の結果子爵趙重應、白完爀兩氏は取締役に男爵韓昌洙趙鎭泰及び朱性根三氏は監査役に夫々當選せり因に同行本年上半期の成績は非常に良好にして總益金四十二萬七千餘圓總損金三十五萬餘圓にして純益金七萬六千餘圓を擧け其の配當割合は前期同樣年八分にて期末現在預金五百二十餘萬圓貸金五百二十餘萬圓を算し前者に在ては前年同期に比し六割六分強後者に在ては同六割一分強の增加なりと

◎人參會社創立
總督府の指定せる耕作區域內に於ける人參の栽培及び同白參の買收に紅參を原料とせる製藥其他製品の販賣藥用染料植物の栽培及製藥並に賣買を目的とする朝鮮人參株式會社（資本總額二十萬圓）は山根正次、横田瀧三郎、安藤靜外數氏の發起に據り愈々設立する事に決定山根正次氏を創立委員長に擧げ本年十二月迄には會社成立の運びに至るべしと因に同會社は本店を東京に設置すべく右株式申込は本月十七日を以て既に締切りたる筈なり

◎佐連線修理著手
六月二十九日以來不通となり居たる佐世保大連間海底電線修理工事は修理船小笠原丸不在の爲め着手する能はざりしが此程漸く修理に向ひ調査せる結果故障箇所は巨文島附近二箇所なること判明し直ちに工事に著手せる趣きなれば多分兩三日中には復舊するに至るべし

大阪より

▼懷中時計暴騰 時局の爲め輸入時計は一般に漸騰の趨勢なりしが此の趨勢は昨年七、八月以來一層顯著となり昨今にては金側懷中時計にて昨年に比し三割乃至五割高となり銀側懷中時計は中流筋の需要旺盛の爲め供給不足となり十割以上の大暴騰を示し今尙先高を見越しつゝある次第なり斯くの如く銀側懷中時計の急騰根本原因は銀價の騰貴を告ぐる一方補助貨幣等に鑄造さる、事增加したるにありと

▼金融引續軟弱 當地金融は各銀行共資金潤澤にして過日來より低落歩調を辿りコール翌日拂六厘以上條件七厘以上新規手形一錢四厘四分の三普通一錢五六厘見當なりしが今日に於ては大體同一見當にて當分此儘持合を持續するなるべし東京側は前週來コール翌日拂一錢一厘が九厘に低落し條件付一錢普通物一錢一厘にて閑散の[illegible]なるも此分は追々資金の異動頻繁なるべく豫測せらる

▼米棉市場在高 某所入電に依れば米棉は古棉品薄となり目下新棉出廻期に際せるが最近の在荷は海港市場百二十三萬一千俵內地市場百三萬七千俵合計二百卅六萬八千俵にして每週八九萬俵の入荷あり輸出高も略ぼ七八萬俵の見當なるが入荷輸出高も多き時は十萬俵に上る事ありと

▼麥酒界の近況 茲許當地麥酒界の近況を聞くに麥酒は年初より四月頃迄を沈衰裡に經過し來れるも五月以降は內地の賣行漸增せる一方輸出も南洋印度方面より續々たる註文到來し俄に活況を呈し來れる折柄聯合側出征部隊用としての需要相當旺盛を極め僅に二三箇月間に內地及び輸出向き共にて既に四十五萬石內外の製品を消化し昨年の同期に比し約二割方の賣行增加を示したるが何分原料麥芽の一石三十圓を唱へ居れるに加へ壜箱其他附屬品及び勞銀共昨年より二三割方昂騰せるため一箱（四打入）十五圓の現在協定値段にては各社共採算上喜ばざる模樣にて一部同業者間には早くも値上を希望し居る向あるも此上の値上は內地向は兎に角として輸出渡し値段は現在にても運賃其他附加雜費にて一箱六十圓內外に當り居れば之が賣行は販賣上不利を招くの嫌ひあるより與造會社の大體方針は輸出商談を避け主として內地向の需要に應じ機を見て幾分の値上をなさんとする意嚮なるが如し

◎京城物價續騰
朝鮮銀行調査

朝鮮銀行調査六月中に於ける京城重要商品の物價高低狀況を聞くに朝鮮生產品の指數は二〇二、〇六にして前月の二〇二、二八に比し少許の低落を示したるも輸移入品は二四七、五四にして前年の二四四、三八に比較し三、一六の騰貴となれるに付結局平均指數に於て一一九の騰貴となり居れり例に依て各品騰落保合別を示せば左の如し

▲朝鮮生產品
●騰貴四品 玄米、精米、明太、紙
●低落七品 大麥、小麥、小豆、眞苧、葉煙草、繩、牛皮
●保合七品 大豆、木綿、[illegible]、松挽材、松薪、炭、牛脂

▲輸移入品
●騰貴七品 綿絲、和金巾、綿花、石油、マッチ、金物、洋紙
●低落二品 精糖、石炭
●保合四品 醬油、清酒、麥酒、支那紬

騰落の概況左の如し

◎買付中止と米價引下策
地方貯藏米を市場に出すべし

大村京城商議書記長談

京城商業會議所にては既記の如く農商務省の鮮米買付に依る米價の奔騰に關し十八日役員會を開催し當局に向つて買付中止方を懇請する所ありしが一方全鮮各商業會議所に對して此の旨通達し京仁のみならず各地方に於ける買付方の中止運動を希望せしが之に對し各會議所より夫々回答あり就中群山商業會議所の返電に據れば『鮮米買占當地にも事實あり依つて當所も買占め防止方に付農商工部長官に電報を以て陳情せり本件に關し一層御盡力を乞ふ』とありたり

▲買付地方面 今回の鮮米買付は主として京城以南の地にて行はれたるもの、如く京城、仁川、群山、木浦、釜山等其の主なる地方なり京仁以北の地方に於ては朝鮮在米買付の事實なき模樣にして寧ろ平壤、鎭南浦地方は在米豐富なるかの感あり蓋し平壤、鎭南浦地方は滿洲筋を其の顧客とし同地方への輸出米ありしも目下時局の關係上船腹の不足及び管理令等に押されて同方面への輸移出不可能となりし爲めなりと謂ふ

▲外米移入少し 元來本問題勃發以前には世上或は朝鮮米を內地に移出し代ふるに割安なる外米を移入するは何等差支なきのみならず寧ろ朝鮮の利益たるべしと或は外米は近日中鈴木、三井等の手を經て多額に移入さるべし曰く釜山に五千噸仁川に五千噸の如き風評盛に流布され居りしが事實は之と相違し外米は十八日釜山に五百噸輸送せしのみにて仁川の如きに對しては其後何等の見込すらも立たず消息杳として判明せず

▲小西買占額 又內地に向つては百萬叺の朝鮮米を移入すべき事等を揚言せる者あり一方下關に於ては近日中三十萬叺の朝鮮米移入を聲言せしあり此の三十萬叺の朝鮮米と云ふは內地移出四斗入りに換算すれば恰も今回農商務省筋の小西某が朝鮮に於て買占たる石高の十二萬石となるを以て恐らく今回の鮮米買付高の內地移入を見越たる言なるべしと想像さる

▲騰貴原因排除 而して小西某が買占たる額は仁川の解合なかりせば合計十六萬石となりしものなれども四萬石の解合の爲め之れが受渡し不可能となりし結果十二萬石に止まりしのみ最早幸ひにして當局より買付中止を命ぜられたれば米價狂騰の原因は排除されたるものと見て可なるべし

▲浦鹽輸出如何 而して帝國の浦鹽出兵に關し其の軍需米を元山より積出すべき豫想若くは計畫なりしやも知れず之れ果して事實なりしと假定するも此際此の事實は一時沙汰止となるべしと觀測せらる

▲持米放賣策 尙ほ今後の米價引下げに關しては地方の富豪にして先高見越による賣惜み等に依り正米の貯藏等を爲し居るものあらば此際相當價格を以て市場に放賣すべき樣地方官憲の手に據つて取計らはれ度き旨を其筋に要望する所ありしが當局にても其主旨を諒せられ差當り適確なる方法を發見せずと雖も兎に角相當の處置を採らむと言明せられたりと

◎朝鮮に暴利取締令の必要無し
食糧品の買占めと保安規則

朝鮮に於ては最近動もすれば暴利を貪らんがために米穀の買占をなす者多く之がために市場は攪亂さる、事一再ならざるを以て世間往々內地に於て施行しつゝある暴利取締令を朝鮮に發布し以て奸商を驅逐し市場の安寧を保護すべしと主張する者あるも朝鮮には該令以上峻嚴なる保安規則統監府時代より嚴として存し食糧品の買占其他暴利を博するの目的を以て市場を混亂せしめ社會人心に不安動搖を惹起せしめたるものは容赦なく處罰し得る事となり居れり故に暴利取締令を發布するの必要なきは言を俟たざるなりと某當局者は語れり

▼印度向雜貨 印度方面は雜貨類の需要百種以上に上り主に英國を主として獨逸品も相應に入りしが獨品の杜絶は勿論英品も杜絶の傾向となり從來本邦より輸入せし陶磁器、扇子、團扇、時計、洋傘、紙及び紙製品、漆器、木竹製品、金屬製品、花莚、賣藥等は益々有望の狀態となり是等の雜貨は必然增加すべし其他外國輸入品の杜絶せるもの數十種あり是等も本邦品を代用として有望なるも彼地の好み調査したる上に非ざれば同名品にても歡迎せざるやも測り難く本邦斯業者は此際渡印彼地事情を調査し發展を企圖するの要あるべしと（大阪支局）

◎南浦引込線貨物
鎭南浦築港引込線貨物取扱開始に付き同驛にては鎭南浦荷扱所が構內に於ける引込線發着貨物は左記の如く取扱ふことなれり

▲外國貨物 普通品は築港引込線に於て取扱ひ鑛石原木等の荒荷は新港引込線にて取扱ふ

▲內國貨物 一般貨物は從來の通り停車場に於いて取扱ひ車扱の穀物穀棉類貨車單叺は貨主の希望に因り築港引込線にて取扱ふ

▲營業倉庫 營業倉庫は築港引込線內に在るを以て營業倉庫貨物に對しては孰れも築港引込線保管料を收受するものとす

◎平壤炭坑線復舊
豫て水害のため運轉休止中の平壤炭坑線大林勝湖里間は十九日午後復舊し同日より運轉を開始せり

◎客月釜山旅客數
客月釜山港に於ける朝鮮內地間出入旅客狀況を聞くに內地人出一萬二百三十二人入一千三百[illegible]

▣三閭百種▣
愈々西伯利出兵も決定した扨て兎角は金の世の中幾何の軍費を要するのだらう▲鳥渡今迄の戰爭の軍用金の勘定をやつて見ると先づ日清戰爭に我國庫支出額が約二億三千三百萬圓當時の歲費年額の約三倍▲北清事變には約二千二百八十萬圓當時の歲費年額の約一割で日露戰爭には約十八億四千二百萬圓で當時の歲費年額の約七倍半である▲今回の西伯利出兵は少數だが踏出した以上は徹底的にやらねばならぬから大分軍資も要る事だらう▲武備の點に於ては日清戰爭前の陸軍の七個師團現役將卒七萬人軍艦の六萬三千噸を追想すると今日の現狀に比して今更ら隔世の感がある▲突如英京に現はれたケレンスキーが何うして露國を逃げ出したかは興味ある問題である▲一時は飛行機で逃げたとか傳へられたが彼自身の逃走談に依ると▲彼が露國を逃げ出したのは六月早々で過激派の跋扈甚しく現つこノブゴロット、ペトログラード、莫斯科などに潜伏して居た相だ▲其中でも一番久しく隱れて居た處所は莫斯科で此の間に脫出の爲變裝を工夫して居た▲先づ頭髮を蓄へ次で髭鬚を蓄へ次に付いて居た友人の鑑定で最う大丈夫だらうと迄なつた處でソロソロ外出を始めたが無事であつた▲次には汽車に乘つて見たが誰とてケレンスキーと氣の付く者もなくなつた▲此處で愈々大丈夫と見込を付け英國指して莫斯科を出發した▲其でもまだ心配で將校の從卒に變裝して甘く世間を誤魔化して無事倫敦へ逃げて來たとか▲而し其妻子はまだ露國の何處かに殘してある相な扨て之から何う云ふ事をやるのか鐵捕な男丈けに時に怖な事もやる

◎取消
本月廿日貴紙朝刊欄外記事不埒な口入屋鮮人を吠く云々の[illegible]は事[illegible]

日正午より千代本に於て第三回月並會を開く由なるが當日の番組は[illegible]

[illegible]千代三味線花奴久島▲小數[illegible]

產地 織元から買へば 地方 呉服店の半直段

[illegible]

綺銘仙 一反 [illegible]
大島銘仙 [illegible]
大島絣 [illegible]
セル [illegible]
綿縮 [illegible]
桐生織物元捌所

フケトリ カユミ止

東京 塚谷出張店 京城本町

京日案內

普通一回前金七拾錢 番外一回前金（限名一回分）[illegible]

[illegible]

仁川 松本病院

●十四五歲小僧入用 旭町一丁目 山本メリヤス雜貨店 電話二〇二五

●貸家 大和町一ノ一七 間數四 京城十友會社 電話（六三六番）

●融通 月掛の方へ極秘迅速簡易 大和町三ノ三 [illegible] 京城 木屋

乳母至急入用 京城府明治町 支那領事館前 飯塚 電話二四〇番

內勤名 高級二名 外務員 採用 希望者は履歷書持參午前中來談 京城明治町一ノ五四 大正生命保險會社京城支部

年金恩給 低利長期 [illegible] 京城永樂町一 商品陳列館前下ル角 江州屋本店

恩給年金立替 [illegible] 無保險 電話二三九一番 京城若草町 金光教會裏手 國江商會

暑中休暇

朝鮮からの御みやげには

朝鮮人參が一番よろこばれます

ソレニハ

信用。生產高共に第一として

內地のどんな田舍でも

能く知つている本社の

謹製

精撰 朝鮮人參

朝鮮 純人參精腦

美術鑵入 ミツワ カシ 人參水飴

が

一番よく喜ばれます

定價

人參（五十匁）	
甲	十八圓
乙	十五圓
丙	十二圓
丁	十圓
戊	八圓
己	六圓五十錢
精腦	
十日分	一圓
二十日分	二圓
三十日分	三圓
六十日分	五圓廿錢
九十日分	七圓
水飴	
大鑵	二圓
中鑵	一圓
小鑵	五十錢

此際の大特典

一、七月中定價の一割引

二、十圓以上一割五分引、三十圓以上二割引、五十圓以上二割五分引

三、內地へ御持歸りの方中屆け先御指定あれば當社に於て關稅納付の上御屆け致して置きます

朝鮮製藥合資會社 京城長谷川町五八 電話一三〇八 振替京城三八〇九

東京支店 牛込白銀町一九 電話番町五四二 振替二四五二五

下關支店 下關丸山町一〇六 振替福岡九六〇七

◎豆粕飯と鯡◇安價生活の研究を
—嘉悦孝子女史曰く—
……まづ上流の家庭から實行して……

嘗てお米の安價販賣をなさいました嘉悦孝子女史は、この際どんなお考へをお持ちでせうか。伺つてみますと『かうお米が高くなつて來ては私ども

▽婦人は 益々心を引き緊めて、幾分でも何かを節約して、家の爲になる樣にしなければなりません。それには、先づ滋養があつて割合に旨しく頂ける鳩豆をお米に加へて炊いたら宜しからうと思ひます。私はズッと此頃、豆粕御飯を勵行して頂いて居りますが大阪西區七條通り日本豆粕製造所で出來る。

▽鳩豆は 澱粉も粕もなくてなかなか質も味もよろしうございます。豆粕御飯と云ひましても三割位ならさう澤山入れた方でもなく旨しく頂けるのです。普通の鳩豆は一升十五錢ですが製粉會社のは二十二三錢で少し高うございますが、その代り品は上等です。これですと御飯と別にして頂いても可成旨しうございます。

▽お惣菜 でも牛豚肉の非常にお高い今日、北海道から山のやうに來るあの鯡を上手にお料理して頂いたらどんなものでせう。鯡なら一本僅五厘か一錢ですが、煮やうによつて却々旨しく頂けます。私は以前は大嫌ひでしたけれど、近頃では、何もお國のためと思つて始終頂いて居ります。お料理の仕方の一例は、一晩、

▽白水の 中へ漬けて置きよく茹でこぼしてから、お砂糖と醬油で適當の味に煮るのです。どうも鯡とか鰯とか云ひますと、人はすぐ下等な肥料でゞもあるやうに考へて、食て見ずに厭がりますがそんな事では到底物價騰貴の世に處して行くことは出來ません。私はこの

▽豆粕飯 と鯡の副食物を何うかして、上流の家庭から實行して食て頂きたいと思うて居ります。上流の方がして下されば中流も之に見習ふといふものです（東京）

◇氷店—雨後の照りにまばゆくて下ゲ簾（季題）—二十日永樂町所見

◎バチルスの檢鏡中河内で遭難した
◇中村中軍醫の手紙

中村鎭海要港部軍醫務局長の令弟海軍中軍醫中村秀雄氏は軍艦河内爆沈の際遭難幸ひに救助せられたが當時の狀況を局長に報じて來たその要領

◆バチルス の檢鏡をやつてゐた、折柄轟然たる音響が起つたので氏は何事ならんと席を離れると下甲板から中甲板に上りつつある乘組員の數は夥しかつた、氏も亦その中に入り中甲板に立つた、その間幾分も過ぎてゐないが早くも艦體は六十五度位の

◆傾斜と なり到底歩行に堪へない、而して巨艦は漸次沈んで行く、そこで氏は海中に身を躍らして飛び込んだが直ちに河内の沈み行く勢に捲き込まれて海底にある事約一分間その後海上に浮び上り約十分餘り得意の水泳で泳いでゐるとそこに

◆救助船 が來たと云ふ事で誠に危なかつたらしい又泳ぎに拙ければ到底助からなかつたらうと云ふ事である

◎持越煙草に稅金
煙草稅令改正と販賣業者の注意
◇近々關係者に申告書と注意書を配布する

近く朝鮮に於ける煙草稅令改正せられ八月一日より實施せらるゝ事は昨紙所報の如くなるが當局に於ては消費稅其他の關係上一般小賣業者及び製造業者に對し萬違反なからん事を期し近々右に關する申告書及び注意書を各關係者に配布する筈なり其の注意事項の主なるものを摘記すれば左の如し

一、八月一日より製造煙草消費稅は定價の二割五分となり販賣者の手許に於て持越せる製造煙草に對しては定價の二割五分より既納消費稅（定價の一割）を控除せる稅金を納付する事を要す仍て八月一日に持越せる製造煙草は府郡廳に八月五日迄に提出すべし之を犯したる者は罰金又は科料に處せらる

但し右現品提出は定價表記なき品に限るものにして即ち外國製造煙草の類なるが京城府内は明治町元漢城病院跡に於て臨時取扱を爲すを以て右期日内に現品と申告書（品種類數量記入）の屆樣式とを同時に提出するものなり

二、定價表記の持越煙草には府郡廳より交付の指定の封緘章及び定價章の貼付を要す又定價表記なき持越煙草には改正定價のスタンプの押捺を要し是は前同樣京城府内のもの明治町元漢城病院跡に於て取扱ふ

三、引上製造煙草所持者は煙草製造場に搬入するか又は前記規定の方法を採るべし

四、消費稅額に相當する擔保（金錢又は有價證券）を提供したる時は三箇月以内消費稅の徵收を猶豫する事あるべし

五、卸賣業者は八月三十日迄に卸賣の種別を定め府郡廳の免許證書換の申請を爲すを要す

◎定期乘車券發賣

滿鐵京城管理局にては西氷庫水練場に往復する京城學校組合七小學校兒童及職員に對し南大門並に龍山驛より西氷庫驛行三等定期乘車券を發賣すべし因に有効期間は七月二十二日より八月十日迄にして特定賃金は一人に付き南大門より六十五錢龍山より四十錢にて乘車人員は約三百名なり尙臨時列車運轉時刻は南大門發午後一時三十分及西氷庫發午後二時五分にして學校名は京城櫻井、東大門、日ノ出、龍山の各公立尋常小學校及西大門、鍾路、元町の各公立尋常高等小學校の諸校なりと

◎凄い笑を浮べて
◆謎の電話◆ 問題の小西は怪な男

賭米買占の張本人小西某は鈴木商店の手先となつて朝鮮で大芝居を打つた程の人物だけに中々深謀遠慮の男で朝鮮ホテルに本陣を構へ御大自ら仁川に出馬せねばならぬ時は必度ボーイに白水に行くからと言殘して出掛けるので容易に

▽仁川行きを 突止める事が出來なんだ、午後小西一派の買付が全鮮の大問題となり朝鮮の増賈も茲許買占の手を封ぜられた折も折仁川の穀物協會では十九日の午後から臨時總會を開いて折角買占めた十萬石の米をちよいと待つたで

▽内地に移出 する事を禁止せしむ可く協議の眞最中列席者の一人なる某氏に京城の小西から電話が掛つて來たが其時小西は『臨時外米管理部の發表に依ると内地では七月三十一日正午現在に於て十石以上の内地米を所有する者をして其數量を屆け出でしむる由（本紙廿日朝刊揭載）只今電報を受取つたが君は知つてるかね、なに知らん、迂かりしてるね、内地では猛烈な有樣だ

▽お互に確乎 しなくちや不可よ』と言つて電話を切つて了つた、什う確乎するのか意味は一寸解らぬが彼の事だから電話口でニヤリと凄い笑みを泛べながら何事をか暗示させたに相違ない

◎味噌値上
百目に五厘

京城に於ける味噌の小賣値段は是迄百目七錢の相場であつたが二十日より百目に付五厘方値上げとなつて恰度昨年の今頃に比較すると二錢も高くなつた此原因は原料たる米及び大豆の騰貴の爲ださうだ

◎看護婦職に殉る

昨年一月より總督府醫院傳染病室に勤務中なりし看護婦平井きみよ子（二二）は先月中旬腸チブス患者看護中感染したるもの如く看護婦手不足の折柄とて入院加療も手遅れの爲め醫院の手厚き治療も其効なく十六日夜遂に職務の爲め殉職したり同院にて二十日午後三時森安博士以下總員本派本願寺に於て同女葬送の式を營めり

◇挿芽の趣味
珍らしい面白い芽があつたら芽を摘んで來て……

座談

◆挿芽といふのは、草花の芽を挿すので、これは眞夏にする仕事でないけれども、木芽と違つて、草花の芽は、先などよりは、反つて夏の方がよく活く

◆夫は草の成育が盛んで、發根能力も非常に盛んであらう。從つて挿芽から根を下すのが早い、然し挿芽が容易だと言つても只芽先を剪むで、矢鱈に挿したのでは、活くべき場合が少ない殊に水分を盛んに發散させる眞夏であるから、其邊を考へてかゝらればならない

◆先此處に菊の例を引いて見ると、芽先三寸位を剪み取つて下の方の葉は去り、上の方の葉も、全く中心の芽を除く外は一枚の葉を半分位に剪む

◆夫は何故かと言ふと、葉が澤山に附けて置くと、水分の放散面が多くなつて、下から吸上げるより、上で費はるる方が多いから、勢ひ凋れて來るのである

◆但し芽を挿すべき土は、全く養分が無い川砂がよい、夫を盆鉢へ盛つて、根を造らせるやうに挿すので、全部で三寸のものならば、二寸程土中に挿すやうにして、一寸だけ地上に出す

◆而して日光の直射せぬ陰の處へ置き、適宜に水分を供給すると、一箇月位で根を下すから、其根が十分に伸びた頃に、ボックリ鉢を抜いて、根先を損めないやうに、砂を落し、新規の鉢へ植えて、ツツジ普通の堆土へ植るのである

◆菊などは八月の中旬に挿したのが秋末の盆栽として、丈も高く、ひ形さへ宜いのは、極めて風情がある

◆目下避暑旅行の好季節とて諸所に旅行される向もあらうさう云ふ場合には必ず外へ出て珍らしいとか、面白いとか思ふ芽があつたら芽を摘んで來て試して見るがよい、非常に有益なもので僅かに學問の上にも又趣味の上にも頗る爲めになる事と思ふ是非實行をおすゝめする

◆然し旅中に取つた草は、挿芽をする迄に萎むから、殊に脆弱なのを用意し、芽が萎む樣なら、切口を火で燒き、水を吸ひ込ませてさへ置けば、二日や三日は安全に保つものである（東洋園藝會）

◎「よい月ですね……」
南洋人は月光の夜を喜ぶ
南洋では女が權力を持つてゐる
◇顔ばかりでなく身體の美しいのが美人

目下觀光の爲め滯京してる南洋の土人の風俗に就て特に婦人に關して附添ひの江副大主計は語る『南洋の婦人は大體に於て柔弱である而して女好きまでは行かないが或程度まで女が權力を持つて居る、今度第一回の觀光に來たオーマン氏は投宿して居る榮屋旅館の女中が餘りに親切にしてくれたのと一般に自分の妻が厭になり今度日本に來る時に離婚して來たさうである

▲日本婦人 が非常によく働くのを觀て南洋に歸つてから會合の席などで女から身體に付いて居るものを貰ふのが男の一番名譽として居る、男が美人と云ふのは日本人の美人觀と非常に異なつて居るが、それは一般南洋婦人は

◆裸で居る爲めに顔の美しいばかりでなく其の肉體の美しいのを美人と稱して居る、南洋では『よい月ですね』と云ふ言葉が男女間に非常に多く使用されて居る、日本では『暗の晩に』と云ふが南洋はそれに反對である實際南洋の月と云つたら日本人に一度見せたいものです

▲月光の夜 に外に出ることを非常に喜んで若い男女が手に手を取つて甘い話をして行くのを見受けます、南洋の婦人は早熟で十四歲が日本婦人の二十歲ぐらゐに比適しますがその代り非常に早く日本婦人に比して短命です、南洋婦人は

◆赤白青と云ふ樣な單純な色を非常に好きますが混合した色は未だ見る目がありません、南洋婦人の内で一番男に歡待るのはチャンブルと云ふ土人とポルトガル人の混血兒の女で殆んど形は西洋婦人と變りません『ダンス』洋樂が非常に巧いからです南洋婦人の職業ですか大體南洋と云へば御承知の通り

▲千里四方 もあるので到る處異つて居ります、或る所では魚を採り或る處では田畑に出ると云ふやうな譯ですから』

◎朝鮮の書畫の慾しい人の爲に
◇本日揮毫會がある…

衰退したる朝鮮書畫界の復興を圖るの併せて一般の書畫に對する趣味を普及させて半島藝術界の衰退を幾分なりと挽回する計畫にて現代朝鮮人側書畫界の一流大家たる安心田、金圭鎭、趙小琳、吳諸氏が中心となりて主なる朝鮮貴族其他多數名士後援の下に朝鮮書畫協會を組織し書畫を愛好する趣味を普及させる目的として今二十一日日曜午前十一時より鐘路大通り明月館支店別館に於て第一回揮毫會を開き前記大家以外に正會員たる諸名家全部出席し一般の希望に依り揮毫の需めに應ずる由なるが揮毫の種類は扇子掛軸其他一切の

◎軍隊に野球熱
が盛んになつた
◇聯隊チーム組織

閑暇競技の内で野球は非常に興味があり殊に攻擊防守に至ては戰法をも競技として最も適當なもので從つて米國など士官や在郷軍人の軍隊では盛に野球チームを組織して居るが日本の軍隊では今日までは殆ど行はれず［illegible］東京梅次郎氏が第四聯隊に一年志願で入隊した同志の者と計り當時の聯隊長に

◆聯隊チーム 組織の許可を得ようとしたがそれも遂に許可にならなかつた然るに今度大阪第四師團野砲兵第四聯隊で一箇月ばかり前に同聯隊の三戸谷少尉の盡力で立派な野球チームが組織された同少尉は非常な野球好きで是非其當隊で他に率先して實行して見たいと云ふ希望を持つて居た、する折もよし浦大隊長や聯隊副官の如きも

◆大の野球狂 で三戸谷少尉の趣意に双手を擧げて賛成し共に聯隊長を說き許可を得て野球部是れに應じたので其熱心に聯隊長も誰が乘り各將校から寄附金を募つて道具一式を買揃へ近頃では毎日夕食後と日曜日とに營庭で物凄い程の練習をやつて居るそして今秋には大阪の中學校を總嘗めにすると豪語して居る之れと前後して名古屋の

◆步兵六聯隊 でも野球チームを組織して同じく猛烈な練習を開始した之れを聞傳へた東京を初め其他地方の聯隊などでも大分野球熱が盛になつて來て現に或る聯隊などでは野球は兵士の趣味を向上させ肉體に精神に良結果を得るばかりでなく團體精神を涵養するものであるから軍隊教育上にも効果があると云ふので此趣意の下に

◆聯隊幹部の 賛成を得ようと努力して居る實際聯隊内には學校出の志願兵や將校連になかなか上手な者が居るから遠からず兵隊さんの野球試合を見る事ができるであらう（東京）

◎正聲會例會 杵屋正［illegible］太郎の長唄正聲會にては二十一日［illegible］左の如し ▲五郎時宗 長唄千代久鶴 三味線正太郎 上調子［illegible］▲安宅の松 長唄すみ子 三味線［illegible］▲勸進帳 長唄さみ子 三味線［illegible］▲［illegible］長唄小其小染 みん 三味線小力勇次

鼻が高くなる
隆鼻器無料貸與

鼻は人生の花で最も大切な物で幸と不幸の分れ道は實に鼻の格好一つである青年男女の内で▲獅子鼻▲わし鼻▲低い鼻▲其他だんご鼻の格好の惡しき人は本法は舊式の注射や隆鼻術でなく自宅で人知らぬ間に何人にても完全に鼻の隆くなる新案特許の隆鼻器を希望者に無料貸與す［illegible］東京神田［illegible］

▲市子▲み子
口よせの術
▲秘術傳授

本書は靈能先生が多年秘藏せし秘術を開放し一大奇書である［illegible］口よせ、死んだ可愛子供の口よせ、如何なる人にても立所に［illegible］
發行所 竹生英堂 振替東京［illegible］

わきがの人に

わきがの爲めに其人の成功を妨げる例は少くない如何に天才の人でも又は花の如き美人でもわきがに犯されたが最後人は其異臭を嫌ふて接近を好みません［illegible］
東洋捕鯨株式會社特約販賣店
鯨問屋 香月商店
京城府明治町二丁目四十六 振替口座京城［illegible］
◎尾羽毛皮各種 卸

李王職御用 模範 牛乳
ニウソ 石鹸洗粉
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話［illegible］

月やく

月やくくすり 不順のため食物がつかへ頭痛逆上腰下腹痛みある方へ［illegible］
森田屋

謹告

盛夏之候大方各位益々御清穆奉賀候從來弊房に於て一手販賣致居候蠅取散は業務の都合上左記へ讓渡候に付將來弊房同樣御引立之程願上候
島田藥房

四方諸彦益々御清康奉慶賀候前記之通り島田藥房の蠅取散は今回當商會に於て引受け販賣の朝鮮一手販賣仕候間倍舊の御用命御愛顧御願申上候也

警務總監部御認可
衞生無害品
はい取散
定價 壹個 金五拾錢
ハイを一時に殺すは此より早き法なし室の内外を問はず小量を撒布すればハイは直ちに死する事請合其外有害虫に有効保證
煙草盆用 かとりたどん 定價壹箱貳拾個入金貳拾錢
火の代用として壹時間以上を保ちカトリ用としては此以上の品なし
朝鮮一手販賣店 京城府黄金町三丁目一九一番地 山本商會
各地方特約店御希望の向は御照會を乞ふ
特約店 京城本町一丁目 山岸天祐堂 同本町四丁目 末村藥房 同南米倉町 島田藥房 龍山漢江通 村田藥房 同元町二丁目 一手販賣元 草津溫泉湯の花 齋藤藥房 京城南大門驛前 淵田平安堂

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 一九二九番

痔疾專門
京城久枝肛門病院
入院隨意
京城明治町一丁目本町より入る中程（電話二二〇二番）

妻の心（四十三）

七の五　小林蹴月作　武内桂舟畫

『旦那様……まあ少時お待ちになつて……妾からまだ申上げこきたい事が御座いますんですから……』こ、禮子は、追ふやうにして起き上りながら、久三郎の後影が見ゑずなるまで、懸命に呼びかけたのであるが、既う何等の甲斐もなかつた。禮子は、再び、縁側に泣き倒れて了つた。夏こは云へ冷たい雨の飛沫が、容赦なくその頸元の邊から肩へかけて降りかゝつて居る。

『……妾が是丈の心盡しも、旦那様には皆、仇に取れるのであらうか……いやいや妾がおろかな爲めに……旦那様は、しみじみこ妾こ云ふ者が厭ひになつてお了ひになつたのであらう。妾さして、良人に嫌はれて、何で此の世の中に生きて居る事が出來よう。妾はもう死ぬより外には……あゝ、三年前の旦那様こは、全然お人が違ふやうに變つてお了ひになるこは、什うした惡魔が旦那様のお懐へ喰ひ入つて居るのであらう。妾は……妾はもう、妾の力で、旦那様を舊の旦那様に引戻す事は出來さうにない……。』

眞に血を吐く苦痛こは、此の事である。禮子は、我が病の身をも忘れて、斯うした情ない哀れの思ひみを抱きつゝ、三十分餘りも縁側に突伏したなりで、誰も知らぬ涙の淵に漂つて居たのである。

『奥様……奥様は、何方にお在遊ばします。』こ、古參のお俊は、眼を光らかしつゝ、家の内の其方此方を探し求めた揚句に、それで、若しや……こ、久三郎が籠居の間の縁先まで來て見て、二度喫驚のしやつくりを止めた。

『あれまあ、奥様、什う遊ばしたんで御座います。お熱が出たこ被何りながら、這麼板の間の上に、お袍も召さないで……奥様、什うか遊ばしたんで御座いますか。』こ、肩の邊へ手を掛けながら、扶け起さうこする。

『俊や、まあ打捨つこいてお呉れ。妾、少し眩暈が爲て來たんですから……。』

『まあ、眩暈が遊ばしたんですか。それでは尚更、彼方へおいでになつて、靜かにお寢み遊ばした方が……。』こ、云ひつゝお俊は、座敷の中を差覗いて、

『おやおやッ、奥様、旦那様のお姿が見ゑませんが、什う遊ばしたんで御座いませう。』こ、二度喫驚

『旦那様は、運動が不足だこ被仰つてたから、多分その邊に運動してお在遊ばすんでせう。』こ、禮子は、漸くにして、お俊に手を扶けられながら起き上つたのであるが、包むに包まれぬは、涙の顔であつた。一切に馴れたらお俊は、恐くもそれこ察したに違ひない。

『ほ、ほ、ほ、御運動こ分つこりますれば、何の事は御座いませんけれども、場合が場合で御座いますから、何時御隠居さまが容子を見に入ツしやらないこも限りませんので……その時若し、旦那様のお姿がお見ゑになりませんこ云ふこ、大變で御座いますからね。』

『だからお前、誰にも内密で居て下さいよ。その内には、必然お歸りになるに違ひありません。』

彼樣に辛く當らるゝ良人にでも、まだ禮子は、出來る限り自分の苦痛を忍んで、良人の爲め好かれかしこ、獨り心を惱まして居るのである。

『左樣こころぢや御座いません。妾が何しにそんな事口外致しますもんですか。おう然う云へば奥樣、今方櫻井さまがお越しになりまして、今日は銀行の用が忙しかつたので、親族會議の方へ列する事が出來んかつたが、皆さまがお引取りの跡なら、禮子さんにお目に掛らうこ被仰るんで御座います。それから妾が、奥樣は昨夜以來お熱が高う御座いますので、御面會なさる事が能ませんこお斷り致しました所、そんなら已むを得んから、伯母さまに會つて大至急お話せねばならぬこ、大急ぎに御隠居所の方へお廻りになりまして御座いますが、奥樣のお親戚では御座いますけれども、妾、何だか彼のお方は、薄氣味がわるう御座いますわ。』こ、お俊は、流石に古參だけの觀測。

◆藥より食物に注意せよ

◇夏の腸加答兒は恐ろしい

夏の腸加答兒は冬の氣管支病こ共に季節病こ云つても宜い位です、世間の多くの人は此の腸加答兒を輕く見て居りますが此の病氣には恐ろしい結果が潛んで居りますから決して『お腹下し』位に安心しないでその手當を受けねばなりません。夏は一體に消化器が弱つて居る所へ、暑氣の爲めに水分を多く求め或は食慾が不進の爲めに食事が不平均になり易い、又夏は凡ての物が

◇腐敗　するこ同樣に腔内に攝取したものも矢張腐敗するので自然腸を傷めるこことなりますそれから夜中の寢冷ゑは小兒ばかりでなく大人でも寢冷になります、夏の子供の腸加答兒は最も恐るべきもので、若し乳兒が夫に冒されて嘔吐こ發熱が二三日繼續したならば十中八九は死亡するものです此乳兒が病氣になつた場合には乳を與へる母親の健康に注意しなければなりません、母親の攝つた食物の全部が乳兒に直接關係するこは斷言出來ませんが大部分は

◇影響　するものこ見て誤りはありません、子供が乳の外に食物が攝れるやうになるこ、非常に果物を好むものです、果物は子供に宜くないこも申しますが、一概にさうこも限りません、新鮮なものを最に注意して與へれば決して悪いものではありません、唯夏は何分にも腐敗し易いから注意が肝要です、果物は子供の便通を良くするものですから、林檎こか桃の類を煮て喰べさせるこ便秘に効があります、果物を與へても効が無かつたら其時初めて藥を使ふのが病氣の手當こしては順序でせう子供の病氣には先づ

◇食物　を改めて後藥用に及ぶ方が宜いやうです、又子供は氷水をやたらに飲みたがりますが、これを全く與へないこ云ふのは困難ですから、多量に飲まぬやうに母親の注意が大切です、一體子供の食物は各々體質によつて異なり一樣に申されません、先づ健全な體質の子供なれば大體に注意して、そんなに臆病にするとはありません、却つて食物に臆病過ぎるこ好き嫌ひの區別が出來、少し變つたものを食べるこ直ぐ腸胃を悪くして病氣を誘ふやうなことになります、又幼い

◇子供　は手に觸れたものを何でも口に入れるものですから食物よりは子供が遊んでゐる間の動作によく注意しないこいけません夏などはよく蠅の死んだのや其他捨てたものなごを食べたのを知らずにゐてそれからこんだ病氣になる例はいくらもあります次に子供も寢冷ゑは直に腸加答兒の原因になるものですから夜中母親は油斷してはなりません兎に角夏の病氣は大人小兒共に重くなり易いものですから十分注意しなければなりません。（某醫師談）

名刺　京城　太平堂　電話二七二番　振京二三六七番

芙江より　虎耳

當地は米價の暴騰に伴れ鷄の子まで破天荒の高値こ相成申候、是迄當春生れ一羽二十二錢位のもの、昨日の市場にて四十五錢に買致され驚くの外之無候
▲皇國の出兵を聞いて
北へ北へ行くや曠野に風薫れ

外科一般　皮膚科　泌尿器科　花柳病科　院長　安部修三　京城永樂町二丁目金光教會隣　安部醫院　電話四一九番

日報俳壇

■山城吟社詠草（公州）

圓轉畫の窓に照る陽や青嵐　鶴城
額白き騎手雄々しさよ競馬　同
葉櫻に風少しあるを素足にて　同
夏嵐去つて鉤まる日覆かな　さだ女
砂に淘る天水桶や夏嵐　同
葉櫻に貧喜詣する土工かな　一佛
葉櫻の庭先に郵書投げらるゝ　同

農場を繞らす土手や夏嵐　末刀
葉櫻に姿を止りし鳥かな　空堂
丘の木立見ゆる茜空や青嵐　士斌

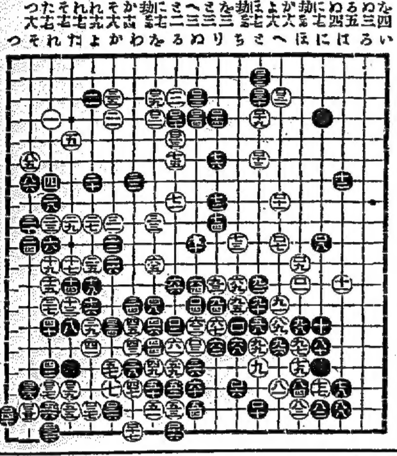
■水無月會詠草（瑞興）

菖蒲池の闇を縫ひ飛ぶ螢かな　樂天
柳の風に流るゝ土手の螢かな　同
輪に舞ふて空へ落ちたる螢かな　台翠
明け放つ亭の暮色に飛ぶ螢　同
硝子戸に月行く夜を飛ぶ螢　悟山
孔子廟の森の月夜に飛ぶ螢　同
我が戀の終り悲しき螢かな　素人
電車通の空高飛べる螢かな　光宇
闇白む草に息つく螢かな　藤森

碁戰（七）

（大正七年六月二十三日京城日報主催於圍碁會）　四段 喜多文子　三子 大久保雅彦

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九



讀者の領分

▲世の中には不幸な女も澤山あるが親兄弟の爲めならば知らず鬼の樣な親戚の者の爲に從はされて淪落する女程哀れな者はあるまい 近頃江景の宿屋に居た十八の娘が平澤附近で同樣な運命に落入りつゝあるのを見受けた（同情の一旅客投）▲昌慶苑丁にて女學生か女事務員か お世話する方の能事本月初めに出て居ましたが御住所お知らせ願はれませんか 私が代人として伺ひに出ます（本人の伯母より）▲私は先月水道税を朝鮮銀行不金庫に納めに參りましたところ十二分間待たされました事に就きて投書いたしましたが本月支拂のさき又待たされはしないかと實は心配して參りました。ところが此度は二分間と經たないうちに領收證を貰ふことが出來まして誠によい心持ないたしました。因て貴紙で當局者に對して感謝の意を表します（時間惜生）▲某學校の先生は内地人に對しては先づ普通な言葉を日常使用して居るが朝鮮人となると馬鹿に丁寧で本日抔も朝鮮人の御方と云ふ抑も如何に朝鮮人がさう恐ろしくとも自分より眼下のものを御方呼ばりするのはあまりに日本人の體面を汚し且つ朝鮮人が益々增長する原因となりはしないかと思ひます（○○生）▲小生は府内旭町一丁目に住む貧乏商人にて致し、各新聞紙上拜見せしに米價調節令發布相成り我々貧困者も安價の米が喰られる事と喜び居りしに反對に益々暴騰し東京にては米價を處分するなぞ當局者も中々の御骨折なれど上る一方如何に當局者と雖も天下の共同合違反として米價を處分しても米大勢を動し得ざる事判明致し候決して同人の爲に臆說を立てるにあらず宜敷同人を無邪にする樣貴紙上を以て御盡力下され度候（米價同情生）

好評經濟的事務用　パインビジネスペン　金ペン付　定價壹圓九拾五錢　京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

○夏枯の海運界

▲近海運賃 ……々しからず目下運賃相場は若門海……山下汽船 一萬噸 同……右にて外米需要船腹は全部決定して目先變動なかるべしこ觀測さ……

○米穀輸入激増

……までの累計四百七十五萬七千圓は前年の同期二千〇五十六萬八千圓……十四萬二千圓は前年の同期三百〇八萬四千圓に比し……八十倍強を……日露合辦の事業會社及び銀行設立の件を協定し露國政府に本邦資本……

かぜに良し ねつに又よし ヘブリン丸 ハカリ印を忘れ給ふな
ハカリ印　定價金十錢以上　家庭用金五十錢、壹圓

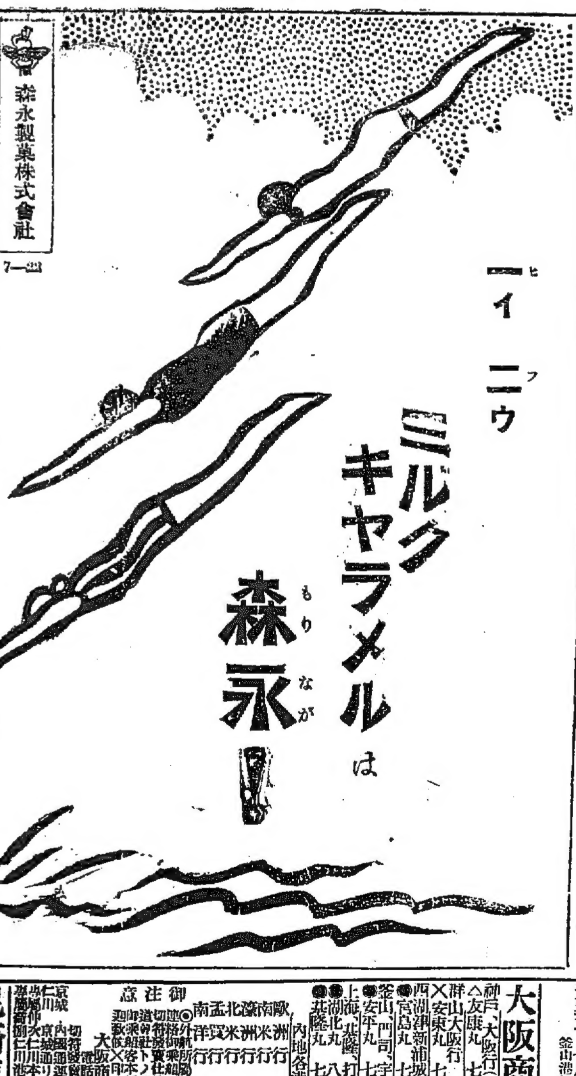
陸軍拂下　官衙拂下一切　品毛布拂袴下下手袋被服　京城府旭町通三丁目電話長三三六番　佐藤古着店

りん病　請合藥　はい毒　請合藥　京城南大門外停車場通　ドラツク商會滿鮮本部　京城黄金町貳丁目　ドラツク商會支店　▲にせ物あり御注意▼

貴重な一滴!!
金鶏香水
香氣の點に於て
保ちの點に於て
普通の香水とは
一目も二目も
ちがひます

夏の進物に
■此御進物なら キット受けます
■此芳香なら キット喜ばれます

定價金二十錢　各地小間物化粧品店藥店にあり　發賣元 大阪道修町 東京本町 藤澤商店



かつけ
尾崎糠精
醫學ドクトル村井弦齋先生 命名實驗證明
販賣元 東京市 尾崎兄弟商會 ◎全國各藥店にあり◎

寫眞　寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 熟練せる技術を以て最も廉價に迅速且懇切を旨とし御需に應じ可申候　京日寫眞製版部

釜山出帆廣告

汽船 ◎元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 七月 日後四時出
◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 七月 日後四時出
◎佐須奈嚴原博多行 天眞丸 七月四日午後十時出
釜山港埋立新町本船取扱店 大池回漕部

大阪商船出帆

神戸、大阪行（仁川出帆） 友康丸 七月廿五日 後五時出
群山大阪行 安東丸 七月 日 正午出
西湖津新浦城津清津行（元山出帆） 宮島丸 七月 日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 七月 日 後九時出
上海、芝罘、打狗行（大連出帆） 湖北丸 八月十二日 前四時出
基隆丸 七月廿四日 後六時出
内地各港出帆主要航路
歐洲行 毎年四回
南米洲行 毎年四回
北米洲行 毎月一回
濠洲行 毎月一回
孟買行 毎月一回
南洋行 毎月一回
御注意 ◎外航所謂航路（航路を除く）乗船は時間ハ五分前ニテ以テ連絡切符發賣致候◎朝鮮鐵道及南滿洲道社船ト連絡ス一切時間發賣仕候 乗客本社一等又ハ船客御取扱致候
大阪商船株式會社 仁川支店 電話二〇番 五（い）
京城 内國通運會社 支店 電話七〇八番
仁川 京城 切符發賣所 取扱所 電話二六一番
仁川 京城 本町 朝鮮旅館 電話四一二番
釜山 仁川 港町 廣田組支店 電話七二二番

尼崎汽船出帆（仁川）

下關、大阪直行 太湖丸 月 日後四時出
群山、木浦、釜山、下關、大阪行 君が代丸 七月 日後四時出
大有丸 七月 日後四時出
仁川海岸通三丁目（電話五九番） 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

天候船舶ノ都合ニ依リ發着時刻變更スル事アルベシ 各地取扱店ニツキ御承知下サレ度シ
敦賀行 清津城津元山釜山經由
平壤丸 七月廿三日 清津
七月廿七日 元山發
浦汐行 大阪發 門司 釜山 元山 城津 經由
平安丸 七月廿二日 釜山發
七月廿四日 元山發
雄基行 ✕印門司發 各港經由 ✕印江原道各港セズ
京畿丸 七月廿四日 釜山發
七月廿七日 元山發
七月廿九日 釜山發
成鏡丸 八月一日 元山發
元山雄基線 元山發 各港ニ出入ス
隱城丸 七月廿五日 元山發
大阪行 浦汐發 清津 城津 元山 釜山 神戸經由
越後丸 七月廿六日 元山發
七月廿八日 釜山發
金剛山遊覽便 元山發長箭石亭經由
長箭行 月六回但自六月至十月五ヶ月間
隱城丸 七月廿九日 元山發
濟陵島行 釜山發浦項及各港經由
咸德丸 七月廿四日 釜山發
釜山浦項線 釜山發 長生浦 方魚津 九龍浦經由
江陵丸 慶陽丸 毎日釜山浦港發
濟州島行 釜山長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 七月廿八日 釜山發
濟州島行 東廻 所安島經由 西廻 八島 楸子島經由
東廻 慶興丸 七月廿九日 木浦發
西廻 公州丸 七月廿六日
釜山麗水線 統營丸 毎日釜山發 麗水發
海州丸 巨濟丸
木浦麗水線 麗水ニテ釜山行接續
順天丸 七月廿五日 木浦發
（以下三日目毎ニ木浦發）
多島海行 木浦發多島海各島行
慶興丸 八月一日 木浦發
木浦行 仁川發各地經由
全州丸 七月廿九日 仁川發
海州行 仁川發江華島喬桐島經由
鎭江丸 南陽丸 毎日一回 仁川海州發
鎭南浦行 仁川發各港經由
晉州丸 七月廿五日 仁川發
青島行 仁川發各港經由
山陽丸 七月廿五日 仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便有
本社 京城南大門通 電話一九五二、二一三二
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 山野回漕部
京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店 電話長一二七〇番
其他各寄港地に荷客取扱店あり